CONTAX TVS DIGITAL

取扱説明書



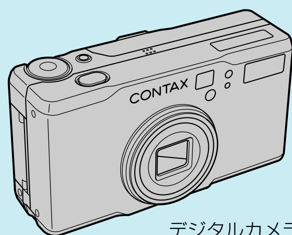
お買い上げありがとうございました。
このカメラは光学３倍ズームレンズを搭載した高性能、高画質のデジタルカメラです。
お取り扱いの際はこの取扱説明書をお読みいただき、正しい使いかたで、末永くお使いいただきますよう、お願い申し上げます。

本書の作例写真は説明のためのイメージ写真です。

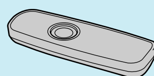
メモリーカード
SDメモリーカードまたはマルチメディアカードをお使いください。本書ではこれらのことを「メモリーカード」と称しております。

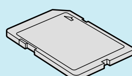
※ MultiMediaCard™は、ドイツInfineon Technologies AG社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。

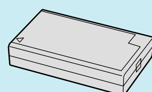
同梱品をご確認ください

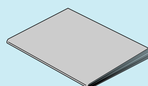


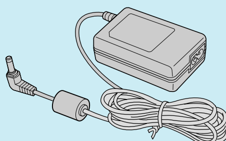
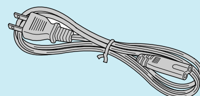
デジタルカメラ

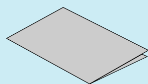

リモコン

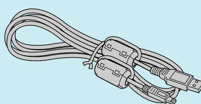

メモリーカード（SDカード）

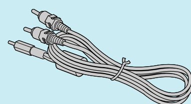

バッテリーパック（カメラに入れて充電して使います）

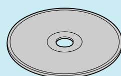

取扱説明書（本書）

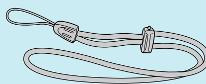


ACアダプター（カメラにつないで充電します）

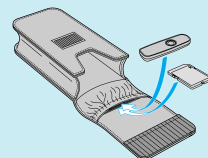

クイックスタートガイド


USBケーブル（パソコンとカメラをつなぎます）


ビデオケーブル（カメラとテレビをつなぎます）

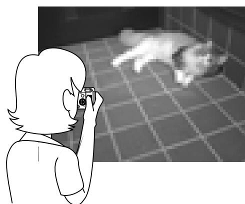

CD-ROM（ドライバソフト）


ハンドストラップ

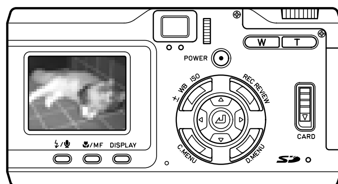

カメラケース

このカメラでできること カメラ自身／カメラ周辺

撮る

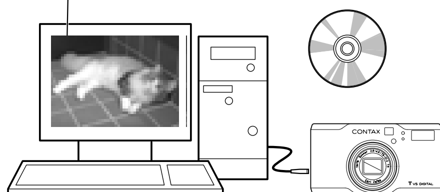


液晶モニターで見る



パソコンにつなぐ

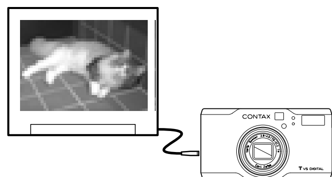
- Eメールに画像をつけて送る
- ハードディスクやCD-Rに保存する
- 壁紙にする



- レタッチソフトで加工する

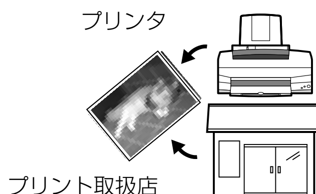
付属のUSBケーブルでカメラとパソコンをつないでください。OSによってはUSBドライバのインストールが必要です。この場合はUSBドライバをインストールしてからカメラとパソコンをつないでください。手順を間違えるとUSBドライバが正しくインストールできません。詳しくはP96をご覧ください。

テレビで見る



デジタルプリントする

プリンタ



プリント取扱店

＊ 従来の写真と同様にデジタルプリントはプリント取扱店でできます。サービス内容についての詳細は、お店にお問い合わせください。

目次

再生と消去

静止画の再生と消去

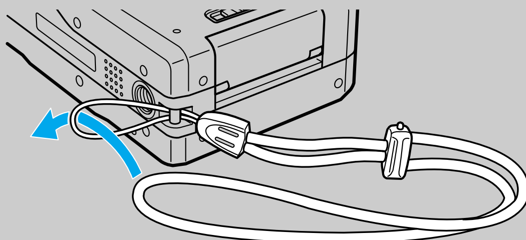
動画の再生と消去

SET UP の機能と使いかた

他の機器への接続

その他

ストラップの取り付け



安全に関する表示について

この取扱説明書では、このカメラを安全に使用していただくために、次のような表示をしています。内容をよくお読みいただき、正しく使用してください。

⚠ 危険	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合に、製品の使用者等が死亡または重傷をを負う危険性が切迫して想定されることを示します。

⚠ 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合に、製品の使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。

⚠ 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合に、製品の使用者等が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定されることを示します。

取り扱い上のご注意

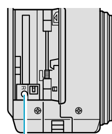
〈カメラ使用上のご注意〉

⚠ 警告	● カメラやバッテリーパックが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、速やかにバッテリーパックを取り出してください。火災や火傷の原因となります。（バッテリーパックを取り出す際、火傷には十分ご注意ください。） ● カメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する恐れがあります。 ● ストロボ撮影時、ストロボを人の目（とくに乳幼児）に近づけて撮影しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。 ● カメラで、太陽や強い光源を直接見ないでください。視力障害を起こす危険性があります。 ● 移動しながらの撮影はおやめください。特にファインダーを覗きながら移動すると事故の原因になります。 ● 撮影時は被写体に気をとられすぎずに、周囲の状況にも十分注意をはらってください。

⚠ 注意	● 海岸やほこりの多い所での撮影後は、カメラをよく清掃してください。潮風は金属を腐食し電子回路の断線ショートの原因となり、発煙・発火を起こすこともあります。また砂ぼこりは内部機構の作動不良を起こします。 ● 寒いところから急に暖かい室内に持ち込むと、レンズがくもることがあります。しばらくするとくもりは消えますが、繰り返し行うとレンズやボディ内部に水滴が生じます。水滴は電子回路の断線、ショートの原因となり、発煙・発火を起こすこともあります。急激な温度変化はできるだけ避けてください。 ● カメラは精密な電子機器です。電子回路の断線による発煙・発火や機構の破損の原因となる落下や衝撃は避けてください ● **海外旅行や結婚式など大切な撮影のときは、前もって作動の確認、またはテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してから使用してください。**

- このカメラは防水機構になっていませんので、雨天や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに当社サービスステーションにお持ちいただき、点検を受けてください。
- レンズやファインダー接眼部などにゴミ・ホコリがある場合は、ブロワーで吹き飛ばすか、柔らかいレンズ刷毛で軽く払い、指紋などがついた場合はむやみに拭かず、市販のレンズ紙などで軽く拭いてください。またミラー面のゴミやホコリは、レンズ刷毛で軽く払う程度にしてください。
- 本体の汚れを落とすときは、柔らかな布などで拭いてください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は本体破損の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- カメラを長時間使用すると若干熱を持ちますが故障ではありません。

- 撮影や再生直後など、カードアクセスLEDが点滅しているときは、メモリーカードを取り出さないでください。
- 強力な電磁波を発生させる場所（テレビやスピーカーのすぐ近くなど）では、画像が乱れて記録されたり、再生画像が乱れることがあります。
- 太陽に直接カメラを向けて撮影しないでください。カメラのCCDを損傷します。
- カメラを落下させたときは、外観に異常がなくても、内部が破損していたり、はずれている場合があります。必ず当社サービスステーションにお持ちいただき、点検を受けてください。
- カード着脱部の内部には触れないでください。故障の原因となります。


リセットボタン（R）

マイクロコンピューターの保護回路について

このカメラは外部の強力な静電気に対して、内部のマイクロコンピューターを保護するための安全回路を内蔵しています。この安全回路の働きにより、極めてまれにカメラが作動しなくなることがあります。このような場合はカメラ電源をOFFにし、一旦バッテリーパックを取り出してもう一度入れ直し、カードカバー内リセットボタン（R）を先の細いもので押してからご使用ください。

- 日付・時刻が初期設定に戻ります。

本製品の機能をフルに活用していただくためにも、アクセサリー類は当社製品のご使用をおすすめします。市販されている他社製品、あるいは自作の製品を使用して生じた事故や故障については、当社では保証いたしかねます。

著作権について

あなたが、実演や興行・展示物などを撮影したものは、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行・展示物などのうちには、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ためし撮りと撮影内容の補償について

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。万一本機や記録媒体（メモリーカード）の不具合により、撮影画像の記録やパソコンへの読み込みが行われなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 航空機の機内や病院など、使用を禁止された場所ではカメラの電源をOFFにしてください。電子機器などに影響を与え事故の原因となります。

〈カメラの保管について〉


注意

- カメラは湿気やほこりのある場所や防虫剤のあるタンス、実験室のように薬品を扱うところを避け、風通しのよいところに保管してください。電子回路の断線、ショートの原因となり、発煙・発火を起こすこともあります。

- 暑い場所（夏の海辺、直射日光下の車内など）に長時間おいておくと、メモリーカードやバッテリーパックの性能を低下させ、カメラにも悪影響を及ぼしますので放置しないでください。
- カメラを長期間使わないときはバッテリーパックを取り出しておいてください。バッテリーパックの液漏れなどによる事故を防ぎます。

〈表示パネルと液晶モニターについて〉

⚠ 注意	● 液晶モニターの画面を強くこすったり、強く押したりすると故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミなどが付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム皮などで軽く拭き取ってください。 ● 万一液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをする恐れがありますので十分ご注意ください。 ● 液晶モニターの破損により中の液晶が皮膚に付着した場合、すみやかに付着物を拭き取り、水で流し、石鹸でよく洗浄してください。また目に入った場合、きれいな水で最低15分間洗浄した後、速やかに医師の診断を受けてください。

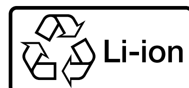
- 液晶モニターの特性上、一部の画素で常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。また記録される画像には何ら影響ありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくくなる場合があります。

〈リチウムイオンバッテリーパック・使用上のご注意〉

⚠ 危険	● 高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）や引火性ガスの発生するような場所での充電・放置はしないでください。発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。 ● バッテリーパックの（＋）（－）端子を金属物などでショートさせないでください。発熱、発煙、発火の原因になります。 ● カギ、ネックレス、コインなどの金属物と一緒に保管はしないでください。金属片などと端子が接触してショートする恐れがあります。 ● 火の中に投入したり、加熱しないでください。発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。 ● 分解や改造はしないでください。発熱、発煙、発火や電池内の液が目に入り失明などの事故の原因になります。万一、電池の液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い流してただちに医師の治療を受けてください。 ● 充電の際は専用の充電器を使用してください。専用の充電器以外で充電すると、発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。

⚠ 警告	● 電子レンジや高圧容器に入れないでください。液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。 ● 液漏れしたバッテリーパックを使用しないでください。バッテリーパック内の液が人体に付着すると傷害を起こす恐れがあります。万一、付着したらすぐにきれいな水で洗い流してください。 ● 破損したバッテリーパックを使用しないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因になります。

⚠ 注意	● 水、雨水、海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因になります。 ● 濡れたバッテリーパックを使用・充電しないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因になります。 ● 幼児の手の届く場所には置かないでください。けがなどの事故の原因になります。 ● 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。液漏れの原因になります。 ● できるだけ、常温（20℃±5℃）でご使用ください。夏期や冬期、閉め切った車内に放置するなど極端な高温や低温環境では電池の容量が、低下し使用できる時間が短くなります。また、バッテリーパックの寿命も短くなります。 ● バッテリーパックを使用しない場合には、湿気の少ない場所に保管してください。



リチウムイオンバッテリーパック
使用後はリサイクルへ

〈充電器およびACアダプター・使用上のご注意〉

⚠ 警告	● プラグの抜き差しが不完全な状態で使わないでください。接触不良により発熱し、火災や感電の原因になります。 ● コードを加工したり無理な力を加えたりしないでください。コードが傷つき火災や感電の原因になります。芯線が露出するほど痛んだ場合は使用を中止し、ご購入店または当社サービスステーションにご相談ください。 ● カバーをはずしたり、分解、修理、改造しないでください。感電する危険があります。 ● プラグにほこりがついた状態で使用したり、金属を近づけたりしないでください。電気が金属を伝わり、火災や感電の原因になります。ほこりがたまったときは、プラグをコンセントから抜き、ほこりを取り除いてください。 ● 煙や異臭、異音がでたり、落下、破損したときは使用を中止してください。そのまま使用すると火災の原因になります。そのような場合は、ご購入店か当社サービスステーションにご相談ください。 ● 家庭用電源コンセント（AC100V～240V、50/60Hz）以外はつながないでください。指定外の電圧や電源で使用すると火災や感電の原因になります。

⚠ 注意	● 充電器およびACアダプターは必ず専用品をご使用ください。指定外の充電器やACアダプターを使用すると思わぬ事故や火災の原因になることがありますのでご注意ください。 ● コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足すなどは絶対にしないでください。 ● 濡れた手で充電器やACアダプターを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。 ● コンセントからの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり断線したり火災や感電の原因になることがあります。 ● 充電器およびACアダプターの傷、断線、プラグの接触不良などにお気づきのときは使用を中止して早めにご購入店または当社サービスステーションにご相談ください。

● ACアダプターは長時間使用すると若干熱を持ちますが、故障ではありません。
● 長時間使用しないときは安全のため先にカメラ側のプラグをカメラ本体から抜き、その後コンセント側のプラグを抜いてください。
● カメラにバッテリーパックをセットした状態でACアダプターを使う場合、カメラの電源をOFFにしてACアダプターの抜き差しを行ってください。
● このACアダプターは、本機専用です。火災や感電の危険防止のため、指定されたデジタルカメラ以外には使用しないでください。

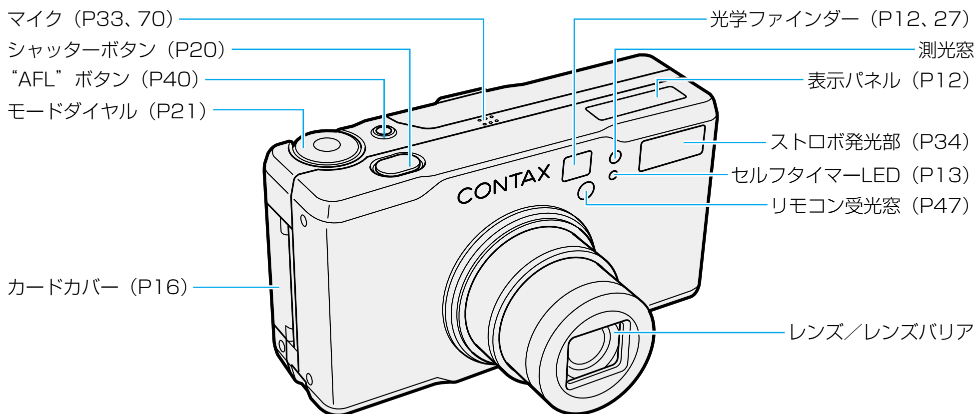


＊ SDロゴは商標です。
＊ MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
＊ MacintoshおよびMac OS、QuickTime™およびQuickTimeロゴは、Apple Computer,Inc.の登録商標です。
＊ PRINT Image MachingおよびPRINT Image Maching Ⅱに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
＊ 全ての会社名、ブランド名または商品名は、それらの所有者の登録商標または商標です。

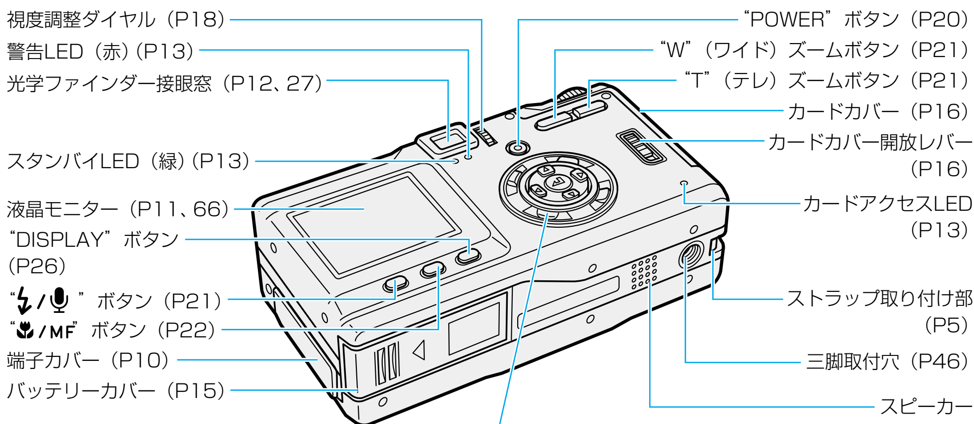
PRINT Image Maching

＊ 本製品はPRINT Image Maching Ⅱに対応しています。PRINT Image Maching Ⅱ対応プリンタでの出力および対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

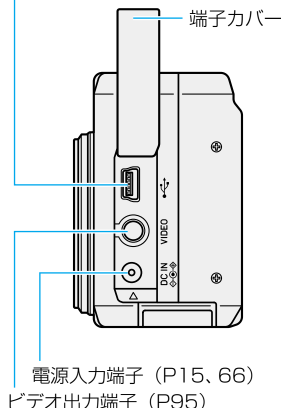
各部の名称



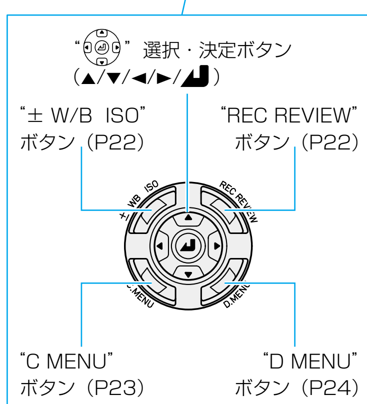
マイク（P33、70）
シャッターボタン（P20）
“AFL”ボタン（P40）
モードダイヤル（P21）
カードカバー（P16）
光学ファインダー（P12、27）
測光窓
表示パネル（P12）
ストロボ発光部（P34）
セルフタイマーLED（P13）
リモコン受光窓（P47）
レンズ／レンズバリア
CONTAX



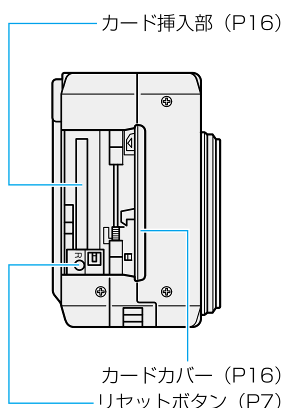
視度調整ダイヤル（P18）
警告LED（赤）（P13）
光学ファインダー接眼窓（P12、27）
スタンバイLED（緑）（P13）
液晶モニター（P11、66）
“DISPLAY”ボタン（P26）
“ ”ボタン（P21）
“ /MF”ボタン（P22）
端子カバー（P10）
バッテリーカバー（P15）
“POWER”ボタン（P20）
“W”（ワイド）ズームボタン（P21）
“T”（テレ）ズームボタン（P21）
カードカバー（P16）
カードカバー開放レバー（P16）
カードアクセスLED（P13）
ストラップ取り付け部（P5）
三脚取付穴（P46）
スピーカー



USB出力端子（P98）
端子カバー
VIDEO
DC IN
電源入力端子（P15、66）
ビデオ出力端子（P95）



“ ”選択・決定ボタン
（▲/▼/◀/▶/ ）
“± W/B ISO”ボタン（P22）
“REC REVIEW”ボタン（P22）
± WB ISO
REC REVIEW
C.MENU
D.MENU
“C MENU”ボタン（P23）
“D MENU”ボタン（P24）

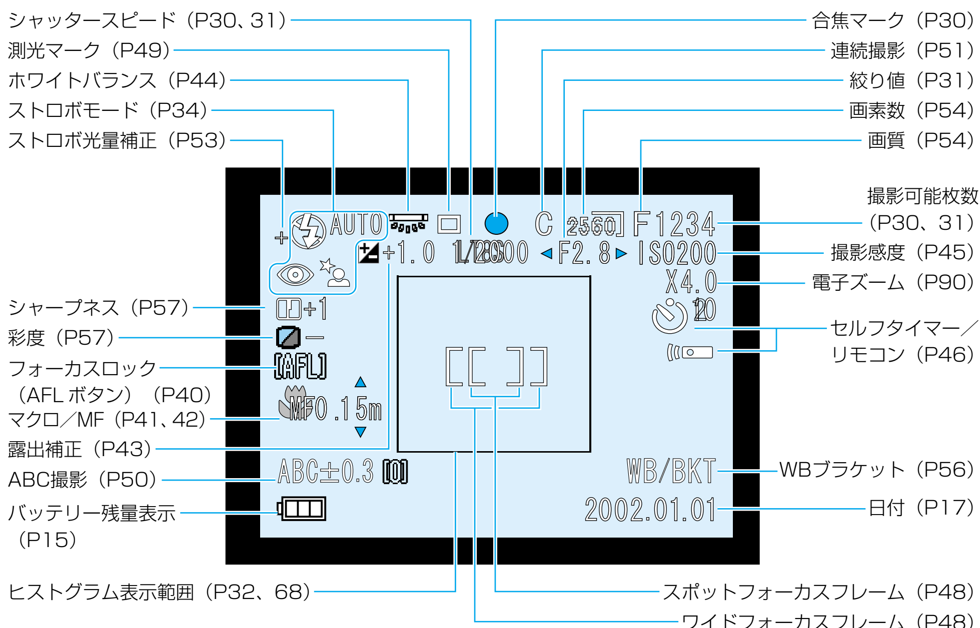


カード挿入部（P16）
カードカバー（P16）
リセットボタン（P7）

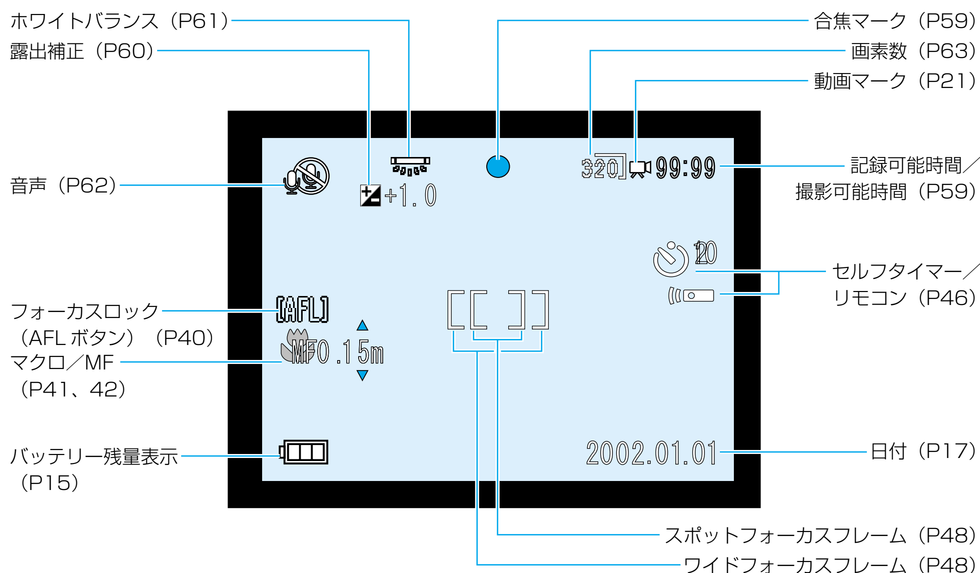
液晶モニターの表示内容（撮影時）

静止画撮影時

これらの図は説明のために全情報を表示したもので実際の表示とは異なります。

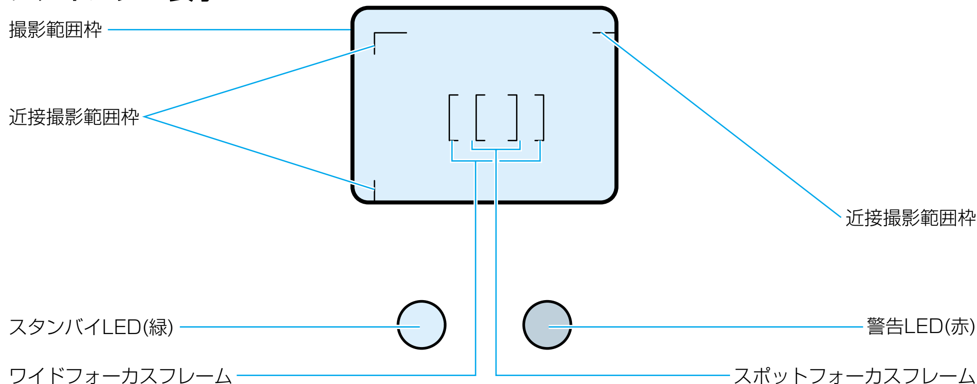


動画撮影時



ファインダー表示および表示パネル

ファインダー表示



ワイドフォーカスフレーム、スポットフォーカスフレーム（∞～ 1.5m）

ピントを合わせを行う範囲の目安です。初期設定はワイドフォーカスフレームになっています。
特定の部分にピントを合わせたいときは、スポットフォーカスフレームに切り替えてください。(P48)

- 1.5mより近距離の時は液晶モニターをご使用ください。

撮影範囲枠（∞～ 1.5m）

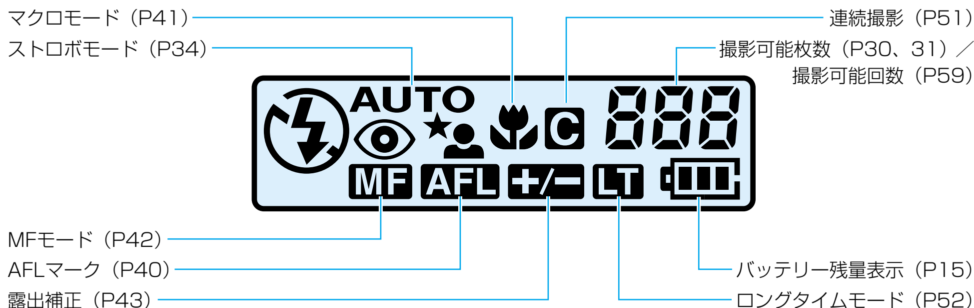
通常の撮影では、この枠内で見える範囲が写ります。

近接撮影範囲枠（1.5m ～ 0.6m）

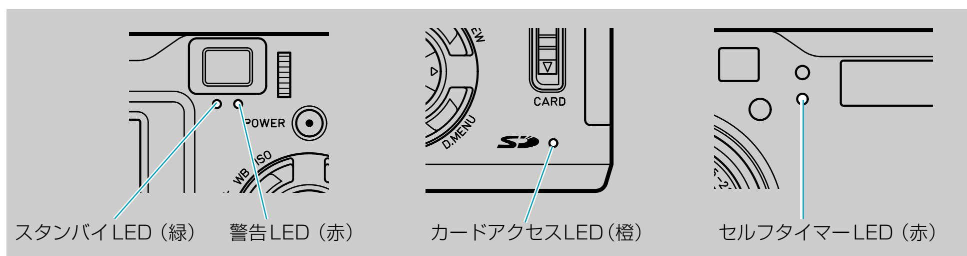
撮影距離が約 1.5m ～ 0.6m のときはこの枠の範囲が写ります。マクロ撮影は液晶モニターをご使用ください。

表示パネル

これらの図は説明のために全情報を表示したもので実際の表示とは異なります。



LEDの表示内容



〈スタンバイ LED〉（緑）

“動画、Av、P” モード	点灯	ピントが合いましたので撮影できます。
	点滅	ピントは合っていませんが、撮影はできます。
	2 回点滅	リモコン信号を受信したとき（P47）
バッテリーパック充電時	点灯	充電完了

〈警告 LED〉（赤）

“動画、Av、P” モード	速い点滅	シャッタースピードが遅くなります。カメラぶれに注意して撮影してください。
	遅い点滅	ストロボ充電中です。次の撮影は点滅が終わるまでおまちください。
バッテリーパック充電時	点灯	充電中
	点滅	バッテリーパック、AC アダプター、カメラのいずれかに異常があると考えられます。

〈カードアクセス LED〉（橙）

“動画、Av、P、再生、SET UP” モード	点滅	画像データをメモリーカードに記録したり読み込んだりしているときなど、メモリーカードにアクセスしているとき。

● 点滅中はカードカバーを開けたり、メモリーカードの取り出しは絶対に行わないでください。

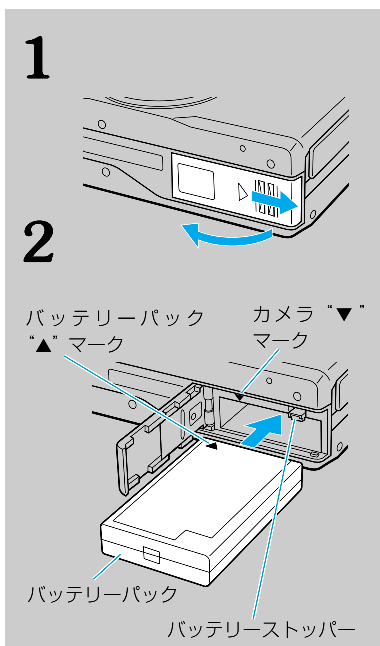
〈セルフタイマー LED〉（赤）

“動画、Av、P” モード	点滅	セルフタイマー作動中
	点灯	静止画の撮影時や動画の撮影中
“再生、SET UP” モード	点灯	再生モードまたは SETUP モード設定中
“パソコン” につないでいるとき	点滅	接続中

撮影前の
準備と操作確認

撮影前の準備

1. バッテリーパックの入れかたと充電のしかた



〈バッテリーパックの入れかた〉

1 **バッテリーカバーを開けます。**

図のようにスライドしてから開けます。

2 **付属のバッテリーパックを、バッテリーストッパーがロックするまで差し込んで固定します。**

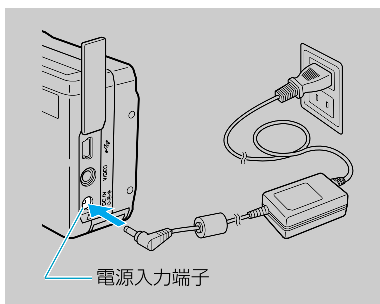
カメラの “▼” マークとバッテリーパックの “▲” マークを合わせて正しく入れてください。

● 裏返しに入れると充電できません。

3 **バッテリーカバーを元通り閉めます。**

〈バッテリーパックの取り出しかた〉

バッテリーストッパーのロックを外して取り出してください。



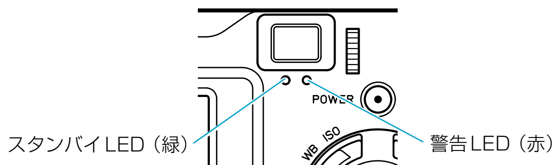
〈充電のしかた〉

バッテリーパックをカメラに入れ、付属のACアダプターをカメラの電源入力端子につないで充電します。

● カメラ電源はOFFにしてください。

充電時間は約6時間です。

充電中は警告LED（赤）が点灯します。充電が完了すると警告LEDが消え、スタンバイLED（緑）が点灯します。

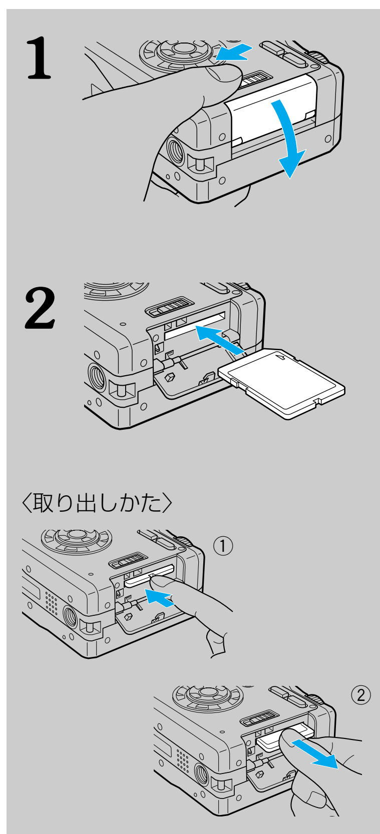


〈充電の目安〉

液晶モニターの “バッテリー残量表示” を目安に充電してください。

			
容量は十分です。	半分使った状態です。	残り少ない状態です。早めに充電してください。	カメラは作動しません。充電してください。

2. メモリーカードの入れかたと取り出しかた



〈メモリーカードの入れかた〉

1 カードカバーを開けます。

カードカバー開放レバーをスライドしてカードカバーを開けます。

2 メモリーカードを入れます。

メモリーカードは“カチッ”と音がして止まるところまで差し込んでください。

- メモリーカードの向きにご注意ください。

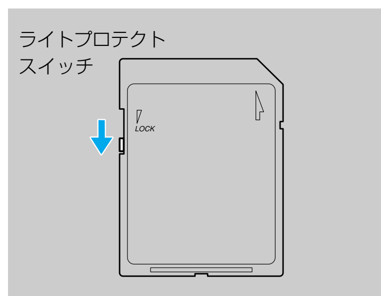
3 カードカバーを閉めます。

- メモリーカードにシールなどを貼らないでください
  取り出せなくなることがあります。

〈取り出しかた〉

① メモリーカードを軽く一回押すと少し飛び出しますので、② それを指でつまんで取り出してください。

〈SD カードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチについて〉



SD メモリーカードには図のようなライトプロテクトスイッチがついています。
このスイッチを下にスライドするとカードへのデータ書き込みが禁止され、カードに保存されている画像などのデータが保護されます。なおこの状態のカードを使っての撮影や消去などはできません。
液晶モニターには「ライトプロテクト」と表示されます。

3. 日付・時刻の設定

日付の設定と年月日のならび順を設定します。

1 モードダイヤルを"SETUP"にし"POWER"ボタンを押します。

電源がONになり液晶モニターに"SET UP"モードが表示されます。

2 "D MENU"ボタンを押して"SET UP D"画面を表示します。

3 "(ボタン)"ボタンの"▲"または"▼"を押し"日付設定"を選び、"►"を押します。

液晶モニターに"日付設定"モードが表示されます。

4 "◄"または"►"を押して修正項目を選び、"▲"または"▼"を押して数値を変更します。

- 時刻は24時間表示です。

5 "►"を押して"年月日"の項を選択します。

"年月日"のならび順を変えたい時は"▲"または"▼"ボタンを押してください。年月日、月日年、日月年から選びます。

- "D MENU"ボタンを押すと、設定はキャンセルされます。

6 "(決定)"を押すと設定完了です。

液晶モニターの表示は"SET UP"モードに戻ります。

日付と時刻は必ず設定してください。
デジタルカメラでは、撮影したときの日付と時刻が画像データと一緒にメモリーカードに保存されますので、パソコンでのデータ管理やアルバムの整理に便利です。

1
POWERボタン
モードダイヤル

2
"D MENU"ボタン

SET UP C.	SET UP D.(1/3)
液晶の明るさ	標準
日付設定	2002.01.01
日付写し込み	なし
フォーマット	実行
オートOFF	3分

3
"▲"
"▼"

SET UP C.	SET UP D.(1/3)
液晶の明るさ	標準
日付設定	2002.01.01
日付写し込み	なし
フォーマット	実行
オートOFF	3分

4
"►"
"◄"

日付設定
2002. 12. 25 00 : 00
年月日
決定
D MENU キャンセル

5

日付設定
2002. 12. 25 15 : 30
年月日
決定
D MENU キャンセル

6
"(決定)"

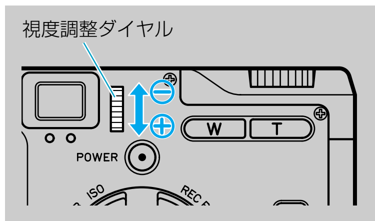
4. 日付の写し込み（静止画）



“ SET UP D”（P89）の日付写し込みで［あり］にセットすると、撮影時に日付を画面に写し込むことができます。日付は画像の右下に写し込まれます。

● 一度写し込むと消去はできません。

5. 視度調整のしかた



このカメラには視度調整機構が内蔵されています。視度調整ダイヤルを回して、ファインダー内フォーカスフレームがはっきり見えるように調整してください。

調整範囲は－ 3.0D ～＋ 1.0D（ディオプター）です。

6. カメラの構えかた



横位置　　縦位置

① 脇をしめてカメラを安定させる。
② 写す瞬間に呼吸を止める。
③ 手にあまり力を入れず、静かにシャッターボタンを押す。

ピントが合った美しい写真を撮るためには、カメラをしっかり構えることが大切です。ピントの悪い写真の多くはカメラぶれが原因です。

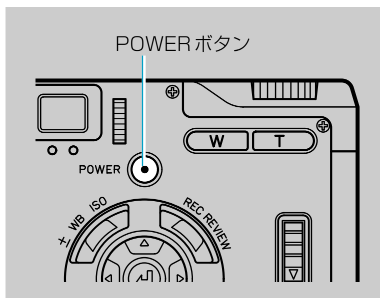
カメラは横位置の他、状況により縦位置で構えますが、いずれも自分にあった姿勢を研究してください。建物や木立などを利用して体やカメラを支えることも効果的な方法です。

- 撮影レンズ、測光窓、ストロボ発光部等に指やストラップがかからないようにご注意ください。
- 縦位置のときはストロボ発光部が上になるようにすると自然光と同じような感じの写真になります。
- 構えた時にレンズ鏡胴にさわらないでください。

撮影前の準備と操作確認

基本的な操作

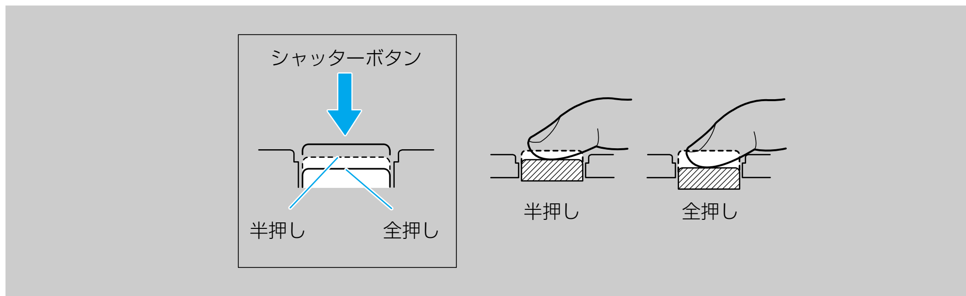
1. “POWER” ボタンについて



カメラ電源のON、OFFの切り替えを行います。
“POWER” ボタンを押すとカメラ電源がONになり、起動音がして液晶モニターに起動画面が表示されます。もう一度押すとカメラ電源がOFFになります。

● 起動画面を表示しないようにすることもできます。（P90）

2. シャッターボタンについて



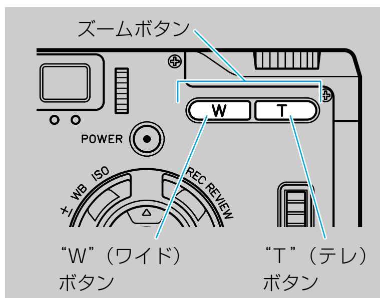
シャッターボタンは2段階押せるようになっています。1段目まで押すことを “半押し” といい、半押しからさらに2段目まで押すことを “全押し” といいます。シャッターボタンはそれぞれの位置で次のような働きをします。

半押し
ピント合わせと露出の測定（測光）を行います。

全押し
シャッターが切れて撮影が行われます。

＊ シャッターボタンはカメラぶれを起こさないように人差し指の腹で軽く押してください。またカメラの構えかた（P18）も必ずお読みください。
● このカメラは、シャッターボタンを押したときのシャッター音量を調節することができます。（P90）

3. ズームボタンについて

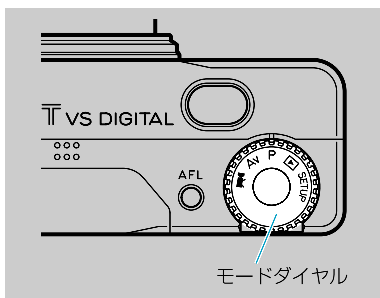


撮影（動画、Av、P）モード時：
光学ズームおよび電子ズーム（×1.3、×1.6、×2.0、×3.0、×4.0）に使用します。

"再生"モード時：
通常再生⇔拡大再生（×2、×4）するときに使用します。（静止画のみ）

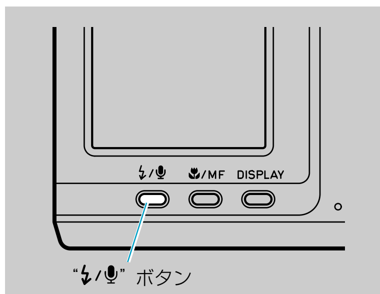
電子ズームについて
- 電子ズームは信号処理で画像を補完するため画質は劣化します。
- 電子ズームを使用して撮影する場合は液晶モニターを使用して撮影してください。光学ファインダーでは電子ズームした画像は確認できません。
- 電子ズームは"AV、P"モードでのみ使用できます。

4. モードダイヤルについて



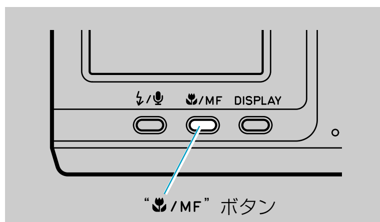
モードダイヤルは次のモード切り替えに使用します。
① "🎥"（動画撮影）モード（P59）
② "Av"（絞り優先オート撮影）モード（P31）
③ "P"（プログラムオート撮影）モード（P30）
④ "▶"（再生）モード（P66）
⑤ "SETUP"（セットアップ）モード（P86）

5. "ϟ/🎤" ボタンについて



次の設定をする時に使用します。
"Av、P" 時　：ストロボモードを切り替えます。（P34）
"レックレビュー" 時
　：アフレコモードになります。"◢" で録音スタート／ストップを行います。（P33）
"▶" 時　：静止画再生時はアフレコモードになります。（P70）

6. "🌷/MF" ボタンについて



"🎥、Av、P" (撮影) モード時のピント合わせ方式を次のように切り替えます。

AF (オートフォーカス) → マクロ AF → MF (マニュアルフォーカス) → AF (繰り返し)

7. "REC REVIEW" (レックレビュー) ボタンについて



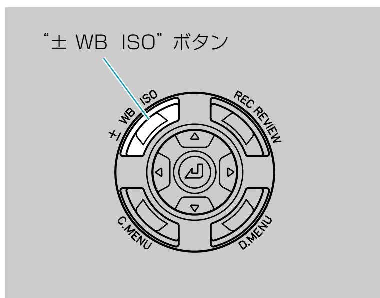
"Av、P" モードのまま撮影した画像の確認ができます。"REC REVIEW" ボタンを押すと、電源 ON 中に撮影した最後の 1 画像を表示します。

また画像表示中に他のボタンを押すことにより以下のことができます。(P32)

① 拡大表示 (ズームボタン)
② インフォメーション表示 (▲/▼)
③ ヒストグラム表示 ("DISPLAY" ボタン)
④ アフレコ ("⚡/🎤" ボタン)
⑤ 撮影画像の消去 ("REC REVIEW" ボタン)

● 動画撮影時、レックレビューはできません。

8. "± WB ISO" ボタンについて

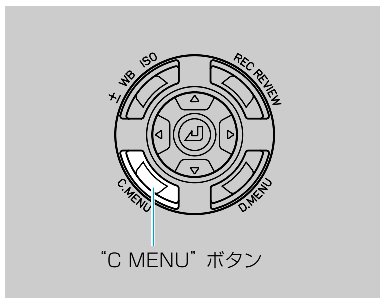


"🎥、Av、P" (撮影) モード時に次の撮影条件を設定する時に使用します。

① "±" 露出補正 (P43)
② "WB" ホワイトバランス (P44)
③ "ISO" 撮影感度 (P45)

● 動画撮影時、ISO(撮影感度)は設定できません。

9. "C MENU"（撮影設定）ボタンについて



"C MENU" ボタン

"、Av、P"（撮影）モード時と "SET UP" モード時に次の撮影条件を設定するときに使用します。

- __は工場出荷時に設定されているモードです。

〈"" モード時〉

① "" セルフタイマー／リモコン撮影：
OFF／10秒／2秒／0秒（P61）

② "AF" オートフォーカス、フォーカス範囲設定：
"[ ]" スポット／"[ ]" ワイド（P62）

〈"Av、P" モード時〉

① "" セルフタイマー／リモコン撮影：OFF／10秒／2秒／0秒（P46）

② "AF" オートフォーカス、フォーカス範囲設定："[ ]" スポット／"[ ]" ワイド（P48）

③ "" 測光方式：" " 評価測光／" " スポット測光／" " 中央重点測光（P49）

④ "ABC"：補正なし（0.0）／± 0.3／± 0.5／± 1.0（P50）

⑤ "DRIVE" ドライブモード："S" 1コマ撮影／"C" 連続撮影（P51）

⑥ "LT"（ロングタイム）撮影時間設定：OFF／1S／2S／4S／8S（秒）（P52）

⑦ "±" ストロボ光量補正："−" −補正／" "（補正なし）／"+" ＋補正（P53）

〈"SET UP"（セットアップ）モード時〉（P88～89）

① デフォルト（カメラ電源をONにしたときにセットされるストロボモード）：
AUTO（自動発光モード）／ AUTO（赤目軽減自動発光モード）／ OFF（発光禁止）／（強制発光）／ AUTO（夜景ポートレート）

② ABC順序：(0)（標準）／＋（オーバー）／−（アンダー）、＋（オーバー）／(0)（標準）／−（アンダー）

③ AFL継続時間：1コマ／電源ON中

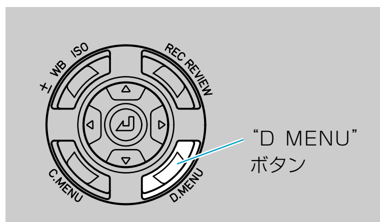
④ AFL機能：AFロック／AF-AEロック

⑤ 露出補正時間：電源ON中／設定解除まで

⑥ 露出補正幅：0.3EV／0.5EV

⑦ MFの継続時間：電源ON中／設定解除まで

10. “D MENU”（デジタル設定）ボタンについて



“[動画]、Av、P”（撮影）モード時と“[▶]”（再生）モード時、および“SET UP”モード時、次の設定をするときに使用します。

● _ は工場出荷時に設定されているモードです。

〈“[動画]”モード時〉

① **“[マイク]”音声：**“ON”あり／“OFF”なし（P62）

② **“COLOR”カラーモード：**“COLOR”カラー／“B/W”白黒／“SEPIA”セピア（P63）

③ **“[画素数]”画素数設定：**“320”320×240／“160”160×120（P63）

〈“AV、P”モード時〉

① **“COLOR”カラーモード：**“COLOR”カラー／“B/W”白黒／“SEPIA”セピア（P54）

② **“[画素数]”画素数設定：**“2560”2560×1920／“1600”1600×1200／
“1280”1280×960／“640”640×480（P54）

③ **“[画質]”画質（圧縮率）：**“FINE”ファイン／“NORMAL”ノーマル（P54）

④ **“WB/BKT”ホワイトバランスブラケット：**ON／OFF（P56）
注：ABC との併用はできません。

⑤ **“[シャープネス]”シャープネス：**－1／0（標準）／＋1／＋2／＋3（P57）

⑥ **“[彩度]”彩度：**－／0（標準）／＋（P57）

〈“[▶]”モード時〉

① **再生画面表示：**“[シングル]”シングル表示／“[マルチ]”マルチ表示（6画面）（P69）

② **“[マイク]”アフレコ**（静止画のみ）（P70）

③ **“[鍵]”プロテクト（保護）：**設定／解除（P72）

④ **“[消去]”消去**（P73）

⑤ **“[全消去]”全消去**（P73）

⑥ **“[画素数]”リサイズ**（静止画のみ）（P74）

⑦ **“[回転]”回転：**“↶90°”左90°／“90°↷”右90°（マルチ再生時を除く）（静止画のみ）（P76）

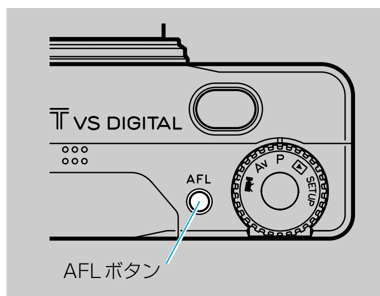
⑧ **“[スライド]”スライドショー：**（P77）
再生間隔（2秒、10秒、15秒、30秒）
開始画像（最初の画像、現在の画像）

⑨ **“[プリント]”プリント設定（DPOF メニュー画面）：**（静止画のみ）（P78）
1）画像選択　2）INDEX 設定　3）全解除

〈“SET UP”（セットアップ）モード時〉（P89～91）

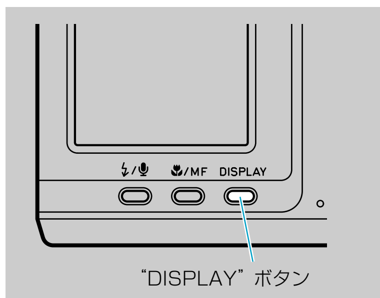
① 液晶の明るさ	：＋２／＋１／標準／－１／－２
② 日付設定	：説明手順に従って設定してください。（P17）
③ 日付写し込み	：なし／あり
④ フォーマット	：実行／キャンセル
⑤ オートOFF	：しない／１分／３分／６分
⑥ 電子ズーム	：OFF／ON
⑦ 操作音量	：OFF／＋１／＋2／＋３
⑧ シャッター音量	：OFF／＋１／＋2／＋３
⑨ 選択色変更	：ブルー／パープル／レッド／イエロー
⑩ 起動画面	：CONTAX画面／ユーザー設定／OFF
⑪ A・RECレビュー	：OFF／２秒／４秒
⑫ 言語LANGUAGE	：日本語／ENGLISH／FRANÇAIS／DEUTSCH／ESPAÑOL
⑬ ビデオ出力	：NTSC／PAL
⑭ 連番リセット	：実行／キャンセル
⑮ 設定リセット	：実行／キャンセル

11. “AFL”ボタンについて



AFLボタンを利用してフォーカスロック(ピントの固定)をすることができます。シャッターボタンはシャッターを切る時のみに使用しますので、シャッターチャンスに専念することができます。（P40）

準備と確認



液晶モニターの表示を切り替えます。

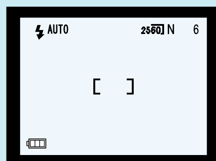
“Av、P”時：情報表示あり→情報表示＋ヒストグラム→情報表示なし→モニターOFF

“🎥”時　：情報表示あり→情報表示なし→モニターOFF

“▶”時　：ヒストグラム表示　あり／なし（静止画のみ）

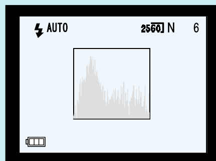
“AV、P”時

情報表示あり



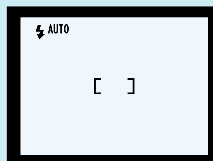
各種の設定情報を表示します。（WB、露出補正、ISO、シャープネスなどが表示されます）。

情報表示＋ヒストグラム



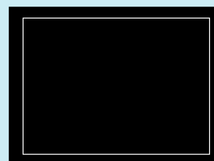
情報表示＋ヒストグラムを表示します。但しシャッターボタンを半押しすると、ヒストグラムがフォーカスフレーム表示に入れかわります。（LT設定時を除く）

情報表示なし



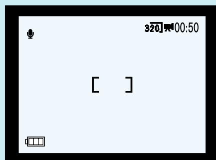
ストロボマーク、フォーカスフレーム、（合焦マーク）のみ、但しLT、C、ABC、WB/BKT、セルフタイマーが設定されていれば表示されます。

モニターOFF（省電）



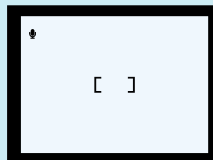
“🎥”時

情報表示あり



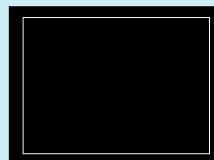
各種の情報を表示します。

情報表示なし



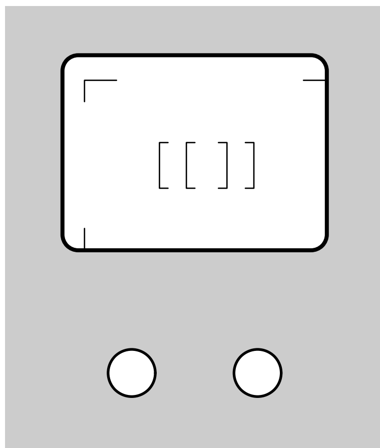
セルフタイマーが設定されていれば表示されます。

モニターOFF（省電）



● 電源OFF→電源ONにすると、前のモードで表示されます。但し、“DISPLAY”OFFで電源OFFにすると、次の電源ONでは情報表示ありで始まります。

13. 光学ファインダーについて



旅先やお出かけ先など充電がすぐにできない状況で、電池の消費を抑えたいときは、液晶モニターを消して（OFFにして）光学ファインダーを使った撮影をします。（P12）

〈パララックスについて〉

光学ファインダーを使って撮影するときは、光学ファインダーの特性上光学ファインダーで見える範囲と実際に写る範囲にずれ（パララックス）が生じます。特に被写体の距離が近い場合には、パララックスが大きくなります。マクロモードでは液晶モニターを使って撮影してください。

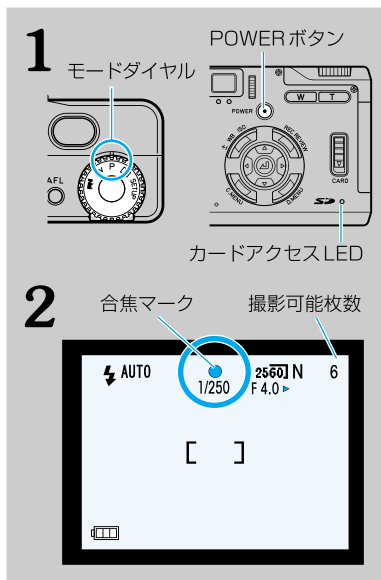
- このカメラは、液晶モニターOFF時でも、マクロモードにすると液晶モニターONになります。

撮　影

静止画の基本的な撮影

1. "P" プログラムオート撮影

"P"プログラムオートを利用して簡単な撮影をしてみましょう。プログラムオートは被写体の明るさに応じて、撮影時のシャッタースピードと絞り値の組み合わせ（露出値）をカメラが自動的にセットします。初めてカメラをお使いになるかたや、露出設定を気にせず気軽に撮影したいかたにおすすめします。



1 **モードダイヤルを "P" にし、"POWER" ボタンを押してカメラ電源を ON にします。**

自動的にレンズバリアが開き、レンズが繰り出されます。

2 **被写体に液晶モニターのフォーカスフレームを向け、シャッターボタンを半押しします。**

ピント合わせが行われると液晶モニター内 "○"（合焦マーク）とファインダー横のスタンバイLEDが点灯します。またその時のシャッタースピードと絞り値が表示されます。

- シャッタースピード "1/2000" が点滅するときは、露出オーバーになります。

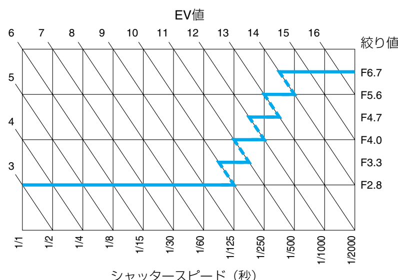
3 **"○"（合焦マーク）点灯を確認したら、そのまま静かにシャッターボタンを全押しして撮影します。**

撮影した画像はメモリーカードに記録されます。記録中はカードアクセス LED が点滅します。

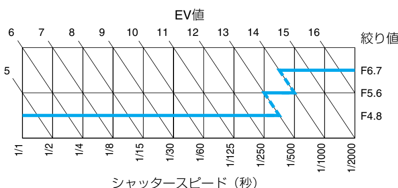
- "○"（合焦マーク）が点滅していても、そのままシャッターボタンを押して撮影できます。

プログラムオート制御図（ISO100 時）

ワイド(7.3mm)時



テレ(21.9mm)時



- メモリーカードの撮影可能容量がなくなると、液晶モニターには「カードが一杯です」と表示されます。また、表示パネルの撮影可能枚数が "000" となりシャッターが切れません。残量のあるメモリーカードにに入れ替えてください。
- カードアクセスLEDが点滅中は、画像記録中です。絶対に次のことを行わないでください。画像データやカメラが破損する原因になります。
  - カメラ本体に振動や衝撃を与える。
  - カードカバーを開ける。
  - バッテリーパックや電源を取りはずす。

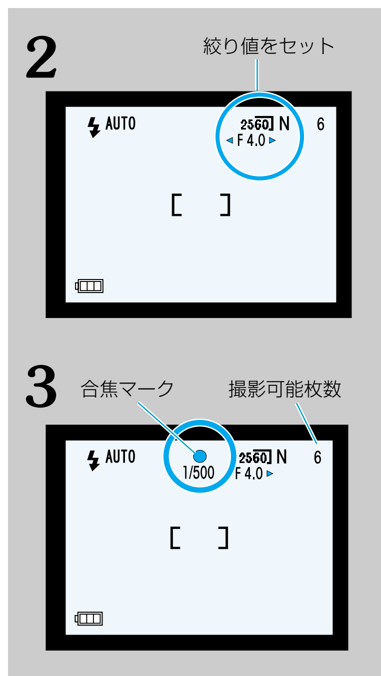
※ プログラムオートでの絞りとシャッタースピードの組み合わせは図のようになります。

2. “Av” 絞り優先オート撮影

レンズの一般的な性質として、ある被写体にピントを合わせたとき、被写体自身が鮮明に写るだけでなく、その前後にも鮮明に写る範囲（被写界深度といいます。）があります。

絞りを絞り込むほど鮮明に写る範囲が広くなり、開放にするほど狭くなります。
この性質を利用して、被写体も背景も鮮明に写したり、あるいは被写体のみ鮮明に背景はぼかして写すことができます。作画意図に合わせて絞り値をセットしてください。

絞り優先オート撮影は、あらかじめ絞りをセットすると、被写体の明るさに応じてカメラがシャッタースピードを自動的にコントロールします。



1 モードダイヤルを “Av” にし、POWER ボタンを押してカメラ電源を ON にします。

自動的にレンズバリアが開き、レンズが繰り出されます。

2 “◎” ボタンの “◄” または “►” を押して絞り値をセットします。

液晶モニターにはセットした絞り値が表示されます。

- ズーム位置により、絞り値設定可能範囲が変わります。

3 被写体に液晶モニターのフォーカスフレームを向け、シャッターボタンを半押しします。

ピント合わせが行われると液晶モニター内 “○”（合焦マーク）とファインダー横のスタンバイLEDが点灯します。またそのときのシャッタースピードが表示されます。

- シャッタースピード “1/2000” が点滅するときは、露出オーバーになります。絞りを絞り込んで点滅表示が点灯表示になるようにしてください。

4 “○”（合焦マーク）点灯を確認したら、そのまま静かにシャッターボタンを全押しして撮影します。

撮影した画像はメモリーカードに記録されます。記録中はカードアクセス LED が点滅します。

- “○”（合焦マーク）が点滅していても、そのままシャッターボタンを押して撮影できます。
- メモリーカードの撮影可能容量がなくなると、液晶モニターには「カードが一杯です」と表示されます。また、表示パネルの撮影可能枚数が “000” となりシャッターが切れません。残量のあるメモリーカードに入れ替えてください。
- カードアクセスLEDが点滅中は、画像記録中です。絶対に次のことを行わないでください。画像データやカメラが破損する原因になります。
  - カメラ本体に振動や衝撃を与える。
  - カードカバーを開ける。
  - バッテリーパックや電源を取りはずす。

3. 撮影画像の確認と消去（REC REVIEWボタン）

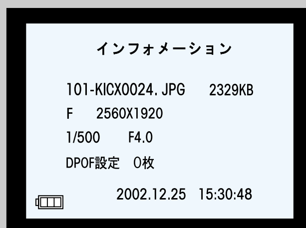
標準画像表示



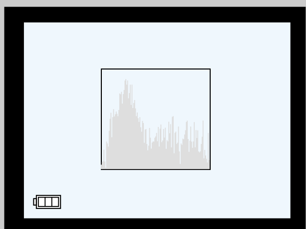
拡大表示



インフォメーション表示



ヒストグラム表示



〈撮影画像の確認〉

“REC REVIEW”（レックレビュー）ボタンを押すと、電源ON中に撮影した最後の一画像を液晶モニターで確認することができます。

また他のボタンを押すことにより、次のことができます。

① 拡大表示（× 2、× 4）
② インフォメーション表示（撮影情報）
③ ヒストグラム表示（明るさ分布）
④ アフレコ（音声録音）
⑤ 撮影画像の消去

レックレビュー中にシャッターボタンを半押しすると、表示は元の撮影画像に戻ります。

● 撮影直後に、撮った画像を自動的に表示させることができます。（A·REC レビュー、P90）

① 拡大表示（× 2、× 4）

レックレビュー表示中に“T”ズームボタンを押すと（× 2、× 4）の拡大表示ができます。
また、“（十字ボタン）”ボタンの“▲/▼/◀/▶”で拡大位置を移動することができます。

● “W”ズームボタンを押して元の表示に戻します。

② インフォメーション表示

レックレビュー表示中に“（十字ボタン）”ボタンの“▲”または“▼”を押すと、表示画像の絞り値やシャッタースピードなどの撮影情報が表示されます。（P68 参照）

● 再度“▲/▼”を押すとインフォメーション表示は消えます。

③ ヒストグラム表示（明るさ分布グラフ）

レックレビュー表示中に DISPLAY ボタンを押すと、ヒストグラムが表示されます。

● 再度DISPLAY ボタンを押すとヒストグラム表示は消えます。

ヒストグラムは、撮影した画像の明るさ分布グラフです。分布が左によるほど暗い画像になり、右によるほど明るい画像になります。（横軸が明暗、縦軸が分布量です。）

● 暗いほうにかたよっているときは露出を＋側に、明るいほうにかたよっているときは－側に補正して、再撮影することをおすすめします。

1



4



④ アフレコ（音声録音）

静止画にメッセージやコメントを録音することができます。

1 **レックレビュー表示中に“⚡/🎙”ボタンを押します。**

液晶モニターには［録音しますか？］が表示されます。

2 **“◎”ボタンの“▲”を押して［実行］を選び、“◢”を押すと録音を始めます。カメラのマイクに向かってメッセージをお話ください。**

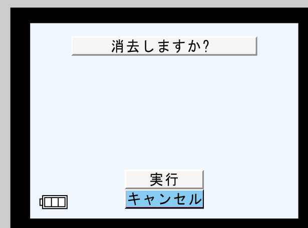
最大30秒まで録音ができ、液晶モニターには残り時間が表示されます。

3 **再度“◢”を押すと録音をストップします。**

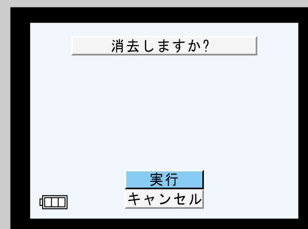
4 **もう一度“◢”を押すと音声を再生します。**

- 音声再生中は“◎”ボタンの“▲/▼”で音量調整ができます。
- レックビュー画面では録音した音声の消去や再録音はできません。

1



2



⑤ 撮影画像の消去

撮影画像を確認し、不要であれば消去することができます。

1 **レックレビュー表示中に“REC REVIEW”ボタンを押すと消去モードになります。**

2 **“◎”ボタンの“▲”を押して［実行］を選び、“◢”を押します。**

撮影画像を消去し、撮影画面に戻ります。

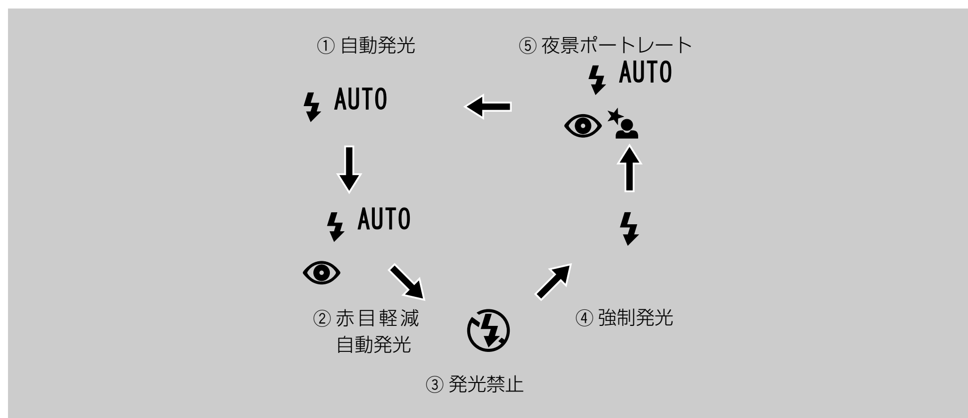
- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。

4. ストロボを使った撮影

写したいものや撮影場所に応じて、ストロボを発光させたり、発光を止めたりすることができます。

撮影モード（P または Av）時、“⚡/🎙” ボタンを押すごとに次の順に切り替わり、表示パネルと液晶モニターに表示されます。希望するモードにして撮影してください。

① 自動発光モード → ② 赤目軽減自動発光モード → ③ 発光禁止モード → ④ 強制発光モード → ⑤ 夜景ポートレートモード



〈1. 自動発光モード〉“⚡ AUTO”

暗いところの撮影で、シャッタースピードが 1/60 秒より遅くなる明るさのときは、自動的にストロボ撮影になります。この時シャッタースピードは 1/60 秒になります。

〈2. 赤目軽減自動発光モード〉“⚡ AUTO 👁”

暗いところで人物をストロボ撮影すると、まれに瞳が赤く写る（赤目現象）ことがあります。この赤目現象を軽減させる撮影方法です。

● このモードではストロボが約0.8秒間隔で2回発光し、2回目の発光のときシャッターが切れます。1 回目の発光後カメラを動かしたり、人物が動かないように注意してください。

〈3. 発光禁止モード〉“Ⓢ”

夕暮れや室内のムードを活かした写真を撮るなど、ストロボを発光させずに撮影したいときはこのモードにセットしてください。被写体の明るさに露出を決定しますので自然な感じの写真が撮れます。

● 暗いときは遅いシャッタースピードになります。（最長 1 秒）カメラぶれ防止のため三脚をご使用ください。

〈4. 強制発光モード〉“ϟ”

常にストロボを発光させるモードです。
屋外の撮影時に、たとえば強い日差しの下や逆光下でそのまま人物を撮影すると、人物は暗くなりがちです。このようなときは、強制発光モードにすると人物も背景もきれいに描写することができます。(日中シンクロ撮影)

● 被写体が暗く、適正なシャッタースピードが1/60秒以下になるときは、シャッタースピードは1/60秒にセットされます。

〈5. 夜景ポートレートモード〉“ϟ AUTO 👁 ★”

夕景や夜景など暗いところで人物を撮るときに、背景も活かした撮影を行うときはこのモードにセットしてください。人物も背景もきれいに描写することができます。
赤目軽減自動発光モードの機能に加えて、暗いところでは背景の明るさに応じて最長1秒までシャッタースピードが遅くなります。(スローシンクロ撮影)

● スローシンクロ撮影ではシャッタースピードが遅くなりますので、カメラぶれ防止のために三脚をご使用ください。

■ 次のモードでは選択できるストロボモードが以下のようになります。

“C” 連続撮影： “ϟ”(発光禁止) ↔ “ϟ”(強制発光)
“LT” ロングタイム撮影： “ϟ”(発光禁止) ↔ “ϟ AUTO 👁”(赤目軽減自動発光)
“🌷” マクロ撮影： “ϟ”(発光禁止) ↔ “ϟ”(強制発光)

〈ストロボ撮影距離範囲〉

ISO : AUTO時

ワイド (7.3mm) 時

距離(m) / 露出/絞り	0.6	1	2	3	4	5
P, F2.8						
F3.3						
F4.0						
F4.7						
F5.6						
F6.7						

テレ (21.9mm) 時

距離(m) / 露出/絞り	0.6	1	2	3	4	5
P, F4.8						
F5.6						
F6.7						

ISO：100, 400時

ワイド（7.3mm）時

ISO100設定時　ISO400設定時

露出／絞り ＼ 距離(m)	0.6	1	2	3	4	5
P，F2.8						
F3.3						
F4.0						
F4.7						
F5.6						
F6.7						

テレ（21.9mm）時

ISO100設定時　ISO400設定時

露出／絞り ＼ 距離(m)	0.6	1	2	3	4	5
P，F4.8						
F5.6						
F6.7						

〈デフォルト〉

カメラ電源をＯＮにしたときに最初にセットされるストロボモードを変更することができます。
“　” や “　AUTO” など常用されるストロボモードにセットしておくと便利です。
詳しくは P88 セットアップをご覧ください。

〈ストロボ光量補正〉

ストロボの光量を補正することができます。詳しくは P53 をご覧ください。

撮　影

静止画撮影のテクニック

画素数と画質について

画素数とは、画像を作り上げている一つ一つの点（ドット）の数をいいます。この点の数が多いほど画像の解像度は上がりますが、画像のファイル容量は大きくなるのでメモリーカードに記録できる枚数は少なくなります。

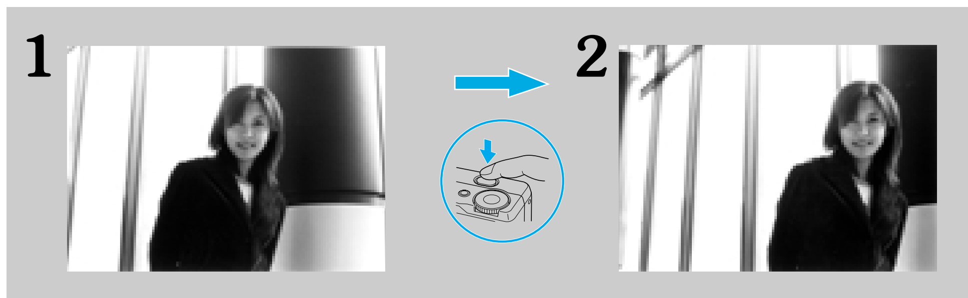
画質とは、撮影した画像をデータ化する際の圧縮率のことです。“FINE”は圧縮率を小さくして画像の細かな部分の劣化を抑えます。“NORMAL”は圧縮率を大きくしますので、画像は劣化しますがメモリーカードに記録できる枚数は多くなります。

● 画素数と画質の設定方法はP54をご覧ください。

16MB メモリーカード使用時の記録枚数

画素数	画質	
	“F” FINE	“N” NORMAL
“2560” 2560 × 1920	約 4 ～ 6 枚	約 8 ～ 12 枚
“1600” 1600 × 1200	約 10 ～ 15 枚	約 20 ～ 29 枚
“1280” 1280 × 960	約 16 ～ 23 枚	約 30 ～ 43 枚
“640” 640 × 480	約 54 ～ 73 枚	約 88 ～ 112 枚

1. フォーカスロック撮影



シャッターボタンを半押しして"○"(合焦マーク)が点灯すると、その時のピントが固定されます(フォーカスロック)。半押ししている間フォーカスロックは継続していますので、カメラの向きを変えてもピントは変わりません。
構図によって被写体がフォーカスフレームから大きくはずれるときは、フォーカスロックを利用して撮影してください。

撮影

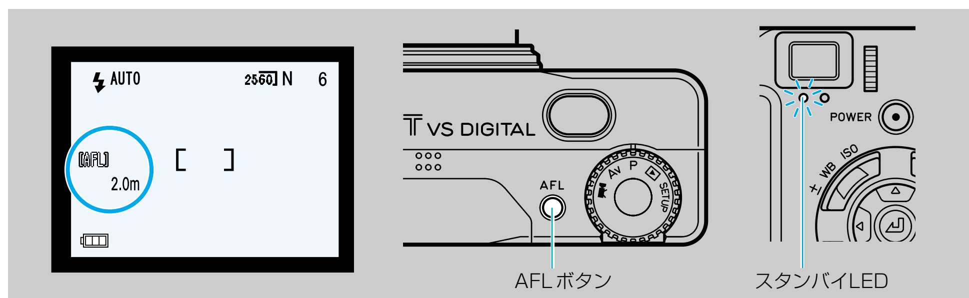
1 ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを向け、シャッターボタンを半押しします。

ピント合わせが行われ、合焦音がして液晶モニターの"○"とファインダー横スタンバイLED(緑)が点灯し、ピントが固定されます。

- ピントと同時に露出も固定されます。(AEロック)

2 シャッターボタンを半押ししたまま写したい構図にカメラを向け、そのままシャッターボタンを全押しして撮影します。

- フォーカスロックはシャッターボタンから指を離すと解除されます。



〈AFL ボタンを利用したフォーカスロック撮影〉

AFL ボタンを利用してフォーカスロックをすることができます。シャッターボタンはシャッターを切る時のみに使用しますので、シャッターチャンスに専念することができます。

1 ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを向け、スタンバイ LED が点灯するまで AFL ボタンを押し続けます。

スタンバイ LED が点灯したらフォーカスロック完了です。AFL ボタンから指を離してください。
このとき液晶モニターに［AFL］と距離が表示されます。

- スタンバイ LED（緑）が点滅しているときはピントが合っていません。
- 再度 AFL ボタンを押すと、フォーカスロックは解除されます。
- 撮影モードを切り替える（P、AV ↔ 動画）または“マクロ / MF”ボタンを押すと、フォーカスロックは解除されます。

2 写したい構図にカメラを戻し、シャッターボタンを全押しして撮影します。

- 撮影が終了すると、フォーカスロックは解除されます。
- カメラ電源 OFF までフォーカスロックを継続することができます。（P86）
- ピントと同時に露出も固定することができます。（P86）

〈誤測距および測距不能になりやすい被写体〉

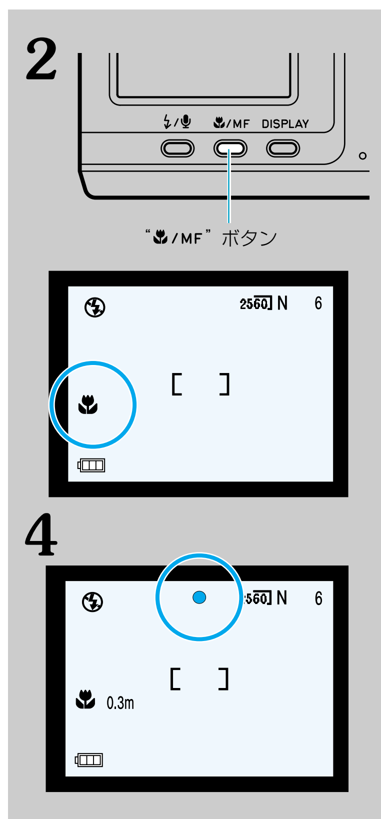
次のような被写体はピントが合いにくいのでフォーカスロックを利用して、等距離にある別の被写体に一度ピントを合わせて撮影しましょう。

- 低コントラストの被写体。
- 繰り返し同じパターンのもの
- 暗い被写体。
- 水平線など横線だけの被写体。
- 非常に明るい被写体や光沢のある被写体。
- フォーカスフレームやその周辺に強い光源がある場合、および太陽光など強い光源が画面内に入る場合。
- フォーカスフレーム内に極度に距離の違う被写体が共存する場合。
- 高速で移動する被写体。

2. マクロ撮影

被写体までの距離（＊）が0.15～0.6mの時は、マクロモードで撮影してください。オートフォーカスでピント合わせを行います。（＊ CCD面より）

- マクロモードでのズーム位置はワイドに固定されます。



1 モードダイヤルを"P"または"Av"にし、カメラ電源をONにします。

2 "/MF"ボタンを押して、液晶モニターに""を表示します。

これで設定完了です。

"/MF"ボタンを押すと押すごとに通常AF"表示なし"→マクロAF""→マニュアルフォーカス"MF"（以後繰り返し）に切り替わります。

- ストロボモードは""（不発光）になります。
- カメラ電源をOFFにするとマクロ設定は解除されます。

3 被写体に近づき、液晶モニターで構図を確認してシャッターボタンを半押しします。

ピント合わせが行われると液晶モニター内"○"（合焦マーク）が点灯します。

- スタンバイLED（緑）も点灯し、ピント合わせが行われたことをお知らせします。

4 "○"の点灯を確認し、撮影してください。

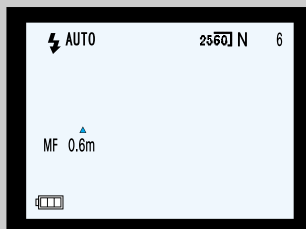
撮影

- マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。光学ファインダーを使っての撮影では、ファインダーでのぞいた構図と実際に撮影した画像の構図が大きくずれます。
- マクロモードの時"/"ボタンを押すと、ストロボを発光させることができます。ただし、被写体との距離が近すぎますので調光保証範囲外になります。ストロボの光量補正を使い、試し撮りをしてください。
- 被写体に最も近づいた時の撮影範囲は、約102mm×76mmです。（撮影距離0.15m）

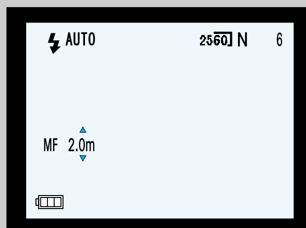
3. マニュアルフォーカス撮影

ピント位置を手動でセットすることができます。距離を固定しての定点撮影や、絞りを絞り込んで鮮明に写る範囲を広げてのスナップ撮影ができます。

2



3



1 **モードダイヤルを "P" または "Av" にし、カメラ電源を ON にします。**

2 **"🌷/MF" ボタンを押して、液晶モニターに "MF" を表示します。**

"🌷/MF" ボタンを押すと押すごとに通常 AF "表示なし" → マクロ AF "🌷" → マニュアルフォーカス "MF"（以後繰り返し）に切り替わります。

3 **"(十字キー)" ボタンの "▲" または "▼" を押して希望の撮影距離を表示します。**

一度設定するとカメラ電源 "ON" 中は同じ設定距離で続けて撮影することができます。

〈設定できる距離（単位：m）〉
0.6、0.7、0.8、1、1.5、2、5、∞

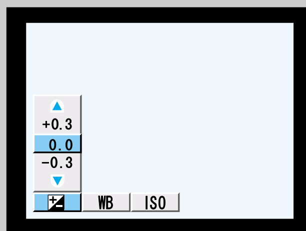
- マニュアルフォーカス設定中は、スタンバイ LED（緑）が点灯します。
- マニュアルフォーカス設定距離を、設定解除まで継続することができます。（P86）

4 **構図を決めて撮影します。**

4. 露出を補正して撮る

撮影のとき、主要被写体とその背景に極端な明暗差があるために、そのままでは主要被写体に適正露出が得られない場合に露出の補正を行います。また意図的に露出オーバー、アンダーの写真を撮りたいときにも利用します。

補正値は＋2EV〜−2EVまでの範囲内で1/3 EVごとにセットすることができます。



1 **撮影モード（PまたはAv）時、"± WB ISO"ボタンを押し項目を表示します。**

2 **"◎"ボタンの"◄"または"►"で"±"（露出補正）を選びます。**

3 **"◎"ボタンの"▲"または"▼"で"補正したい値"を選び"± WB ISO"ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り補正値が表示されます。これで設定完了です。そのまま撮影してください。

- 補正値設定後、撮影しないで解除するときは1〜2の手順で補正値を"0.0"にセットしてください。
- 露出補正設定の継続時間を変更することができます。(P88)
- 補正値を0.5EVごとにセットすることができます。(P88)


＋補正


補正なし

逆光などのときは･･･

"＋0.3EV"〜"＋2EV"の範囲で補正します。

逆光や明るい空、海をバックにした人物、または窓辺の人物などのように明るい背景が撮影画面に占める割合が大きい場合、人物は露出アンダーになり、シルエットのように暗くなります。このようなときは露出を、＋0.3EV〜＋2EVの範囲で補正して、露出を多く与えます。


−補正


補正なし

暗い背景などのときは･･･

"−0.3EV"〜"−2EV"の範囲で補正します。

スポットライトに照らし出された人物などのように、暗い背景が撮影画面に占める割合が大きい場合、人物は露出オーバーになり白っぽくなります。このようなときは露出を、−0.3EV〜−2EVの範囲で補正して、露出を少なくして撮影します。

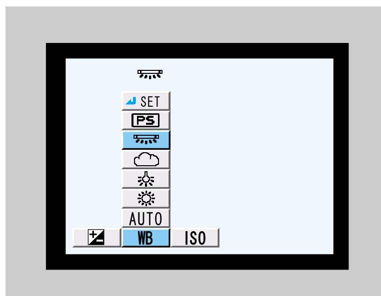
ヒストグラムで明るさの分布を確認しながら、露出を補正することができます。"DISPLAY"ボタンを押してヒストグラムを表示してから"± WB ISO"ボタンを押して露出補正を選んでください。ヒストグラムの詳細はP32をご覧ください。

5. “WB” ホワイトバランスの設定

光の状況に応じて順応する人間の目と異なり、このカメラのCCDは白を白く写すために太陽光や室内の電球･蛍光灯などの光源に合わせて色補正が必要です。光源に合わせてホワイトバランスを設定してください。

ホワイトバランスの種類

[AUTO]	周囲の状況に合わせて自動でホワイトバランスを設定します。
[晴天マーク]	屋外の晴れた日
[電球マーク]	室内の白熱電球のもと
[曇天マーク]	屋外の曇った日
[蛍光灯マーク]	白色蛍光灯のもと
[PS]	手動セットされたホワイトバランス
[SET]	白いものに向けて手動セット



1 モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。

2 “± WB ISO” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◄” または “►” で “WB” を選びます。

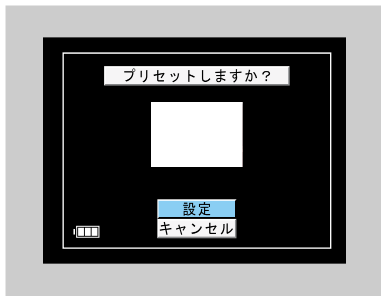
3 “ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の項目を選び、“± WB ISO” ボタンを押します。

元の撮影画面に戻り設定したホワイトバランスマークが表示されます。これで設定完了です。

- [AUTO] は表示されません。

〈ホワイトバランスを手動でセットするには〉

いろいろな光源がミックスしているときや、より厳密なホワイトバランスを取りたいときは次のようにしてください。



1 “± WB ISO”ボタンを押し“ ”ボタンの“◄”または “►” で “WB” を選びます。

2 “▲” を押して “ SET” を選び、“ ” を押します。

[プリセットしますか？] の画面になります。

3 白の基準としたいものが画面一杯になるように近づき、[設定] を選び “ ” を押します。

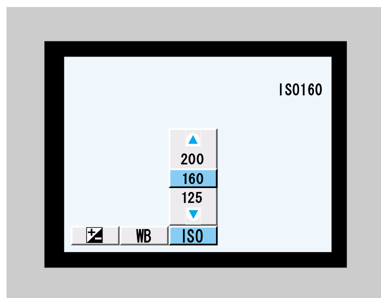
- PS は手動セットされたホワイトバランスになります。

4 “± WB ISO” ボタンを押すと撮影画面に戻り設定完了です。

- 手動セットしたホワイトバランスは記憶され続けます。光源が変わったときはセットし直してください。

6. “ISO”（撮影感度）の設定

“ISO” はフィルムの ISO 感度に相当するもので、光に対する対する感応度合いを表します。
ISO 値が小さいほど光に対する感度が低くなります。ISO 値が大きいほど光に対する感度は高くなり少ない光の量で感応しますので、暗いところでの撮影や高速シャッターでの撮影ができます。ISO値を大きくすると画像にノイズが入ったりする場合があります。



設定できる ISO 感度
AUTO、ISO100、125、160、200、250、320、400

1 モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。

2 “± WB ISO” ボタンを押し、“十字ボタン” ボタンの “◄” または “►” で “ISO” を選びます。

3 “十字ボタン” ボタンの “▲” または “▼” で希望の ISO 値を選び、“± WB ISO” ボタンを押します。
元の撮影画面に戻りISO値が表示されます。これで設定完了です。

- [AUTO] は液晶モニターに表示されません。
- [AUTO]は被写体の状況によってカメラが適切な値に感度を制御します。

撮影

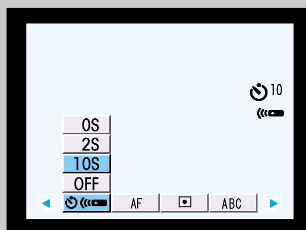
7. “C MENU”（C メニュー）を使った撮影

① セルフタイマー／リモコン撮影

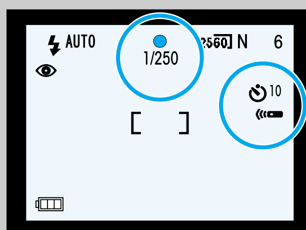
セルフタイマー／リモコン撮影は、次の撮影を行いたい時にご使用ください。

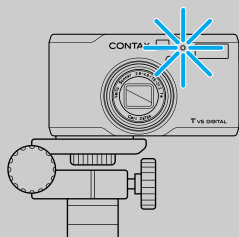
[10S]　：記念撮影など、ご自身も一緒に写りたいとき使用します。（リモコンでも作動します。）
[2S]　：接写などでのシャッター押し時のカメラぶれ防止に有効です。（リモコンでも作動します。）
[0S]　：離れたところからシャッターを切ることができます。（リモコン撮影）
[OFF]　：セルフタイマーおよびリモコン撮影は解除され、シャッターボタンによる撮影になります。

4



5





1 **カメラを三脚などで固定します。**

2 **モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。**

3 **“C MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◄” または “►” で “ ” を選びます。**

4 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で “10S” または “2S” を選び “C MENU” ボタンを押します。**

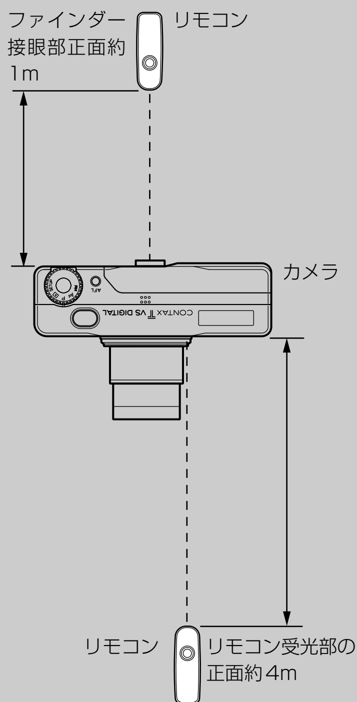
画面は元の撮影画面に戻りセルフタイマーマークが表示されます。これで設定完了です。

5 **シャッターボタンを半押しし、液晶モニターの “○” の点灯を確認してからシャッターボタンを全押しします。**

液晶モニターのセルフタイマー数字がカウントダウン表示します。

6 **セルフタイマーが作動し、10秒または2秒後にシャッターが切れます。**

- カメラ電源をOFFにするとセルフタイマー撮影は解除されます。
- セルフタイマー撮影を途中で中止するときは、カメラ電源をOFFにしてください。
- セルフタイマー作動中セルフタイマーLEDが点滅します。
- セルフタイマースタート時に露出とピントが固定されます。
- セルフタイマー作動中にシャッターボタンを押すと、セルフタイマー作動を停止します。
- ストロボ充電中はセルフタイマーをスタートすることはできません。



リモコン撮影について

［10S］、［2S］、［0S］設定時にリモコンを使用して撮影することができます。［0S］設定時はリモコンの送信ボタンを押すとすぐにシャッターがきれます。

〈撮影方法〉（例）

前ページの設定方法で［10S］をセットします。

1 カメラを被写体に向けAFLボタンを押し、ピントを固定します。

- このカメラはピントが合わなくてもシャッターが切れますので、リモコン撮影の場合はAFLボタンでピントを固定して撮影してください。

2 構図を決めます。

3 リモコンの送信部をカメラのリモコン受信窓に向けて送信ボタンを押します。

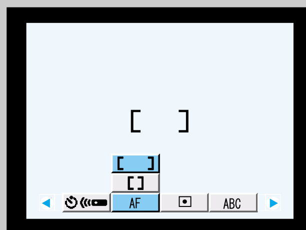
セルフタイマーLEDが点滅し、10秒後にシャッターが切れます。

- 逆光時あるいはインバーター方式蛍光灯の下などでは、まれにリモコン撮影ができないことがあります。
- カメラの背面からもリモコンでシャッターを切ることができます。リモコン信号を受けるとファインダー横のスタンバイLED（緑）が２回点滅します。

② スポットオートフォーカス撮影

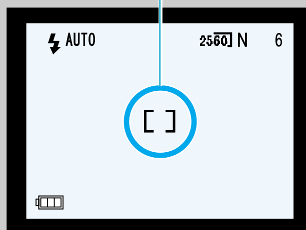
オートフォーカスの標準設定は、ピント合わせ範囲の広い“[　　]”（ワイドフォーカスフレーム）になってます。特定の部分にピントを合わせたいときは、AF範囲を“[ ]”（スポットフォーカスフレーム）にします。

2



3

スポットフォーカスフレーム



1 **モードダイヤルを“P”または“Av”にし、カメラ電源をONにします。**

2 **“C MENU”ボタンを押し、“（十字キー）”ボタンの“◄”または“►”で“AF”を選びます。**

3 **“（十字キー）”ボタンの“▼”で“[ ]”を選び、“C MENU”ボタンを押します。**

画面は元の撮影画面に戻りスポットフォーカスフレームが表示されます。これで設定完了です。あとは通常のオートフォーカス撮影と同じです。

- 光学ファインダーのピント合わせは内側のフォーカスフレームの範囲になります。

③測光方式の選択

このカメラには評価測光と中央重点測光及びスポット測光の 3 通りの測光方式があります。
撮影条件や撮影意図により使い分けると、より精度の高い効果的な写真撮影が行えます。

〈評価測光〉（▦ マーク）

評価測光は、撮影画面を分割し、それぞれの部分を測光し得られたデータから被写体の条件に最適な露出値を決めます。このため、**一般的な撮影はもちろん、逆光などの撮影でもほとんど露出補正なしに撮影することができます。**

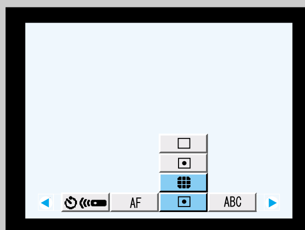
〈中央重点測光〉（□ マーク）

主にファインダー画面中央部の被写体の明るさを重点的に、測光を行い、露出値を決定する方式です。**一般の撮影で容易に露出を決めることができます。**

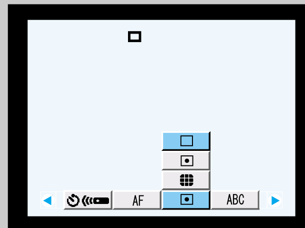
〈スポット測光〉（⊡ マーク）

画面中央にあたる被写体の明るさのみ測光して、露出を決める方式です。
たとえば、逆光の人物や特定の部分にライティングを活かした舞台撮影など、**被写体と背景の明るさが極端に違う場合**、また画面効果を考えて、**特に被写体の一部分だけを測光して撮影したい場合などは、このスポット測光を利用します。**

2



3



1 **モードダイヤルを "P" または "Av" にし、カメラ電源を ON にします。**

2 **"C MENU" ボタンを押し、"◎" ボタンの "◄" または "►" で "⊡" を選びます。**

3 **"◎" ボタンの "▲" または "▼" で希望の測光マークを選び、"C MENU" ボタンを押します。**
画面は元の撮影画面に戻り選択した測光マークがが表示されます。これで設定完了です。

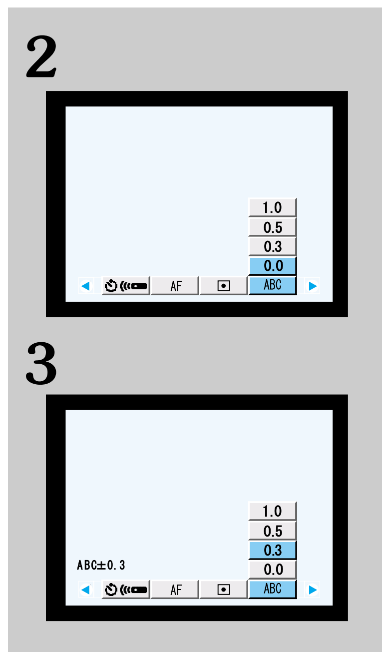
● 評価測光設定時は、液晶モニターにマークは表示されません。

撮影

④ 露出を自動的に３段階変えて撮る（ABC 撮影）

ABCモードにセットすると、自動的にスタンダード、オーバー、アンダーと3段階の露出バリエーションで撮影ができます。
非常に微妙な露出条件のもとででも、露出決定に気を取られることなくシャッターを押して、チャンスを確実にものにすることができます。
※ ABC : Automatic Bracketing Control

ABC 撮影は、シャッタースピードを制御して自動露出補正を行います。



1 **モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を “ON” にします。**

2 **“C MENU” ボタンを押し “ ” ボタンの “◄” または “►” で “ABC” を選びます。**

3 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で補正幅を選び、“C MENU” ボタンを押します。**

画面は元の撮影画面に戻り補正幅が表示されます。これで設定完了です。

補正幅は± 0.3EV ± 0.5EV ± 1EV の３種類が設定できます。

- ストロボモードは “ ”（不発光）になります。
- ストロボを併用する ABC 撮影はできません。
- 露出補正を併用すると、その補正値を基準にしたABC撮影になります。
- ドライブモードが “S” のとき撮影するごとに測光し直し、ドライブモードが “C” のとき最初の撮影の測光値に対して補正を行います。
- カメラ電源を OFF にすると ABC 撮影は解除されます。

4 **被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを押します。**

ABC 撮影中は液晶モニターに撮影順序を次のように表示します。

スタンダード	: ABC ± 0.3	[0]	0 が点滅
オーバー	: ABC ± 0.3	[+]	＋ が点滅
アンダー	: ABC ± 0.3	[−]	− が点滅

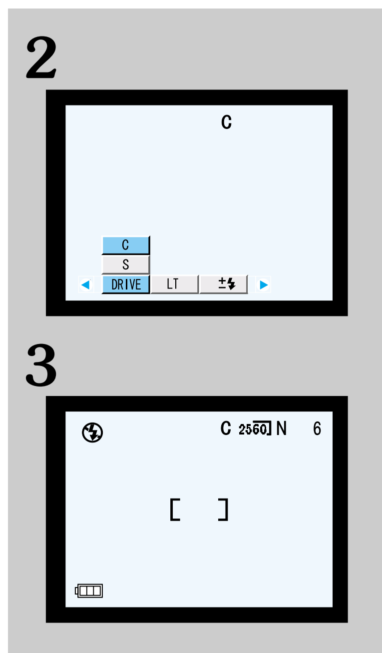
ドライブモードが “S” のとき、シャッターボタンを押すごとにセットした補正幅に従って、スタンダード、オーバー、アンダーの順で撮影します。

ドライブモードを "C" にすると、スタンダード、オーバー、アンダーの順で連続撮影し、３画像撮影し終わると止まります。

- ピントは最初の撮影で固定されます。
- 補正幅がカメラの補正限界を越えるときは、限界補正値で撮影されます。
- 補正順序を、オーバー→スタンダード→アンダーに変更することができます。（P88）
- 残り枚数が３枚未満のときは撮影できません。（ドライブモード "C" のとき）

⑤連続撮影 "C"

シャッターボタンを全押ししている間連続して撮影します。



1 モードダイヤルを "P" または "Av" にし、カメラ電源を ON にします。

2 "C MENU" ボタンを押し、" " ボタンの "◀" または "▶" で "DRIVE" を選びます。

3 " " ボタンの "▲" で "C" を選び、"C MENU" ボタンを押します。

元の撮影画面に戻りCマークが表示されます。これで設定完了です。

- ストロボモードは " "（不発光）になります。

4 被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。

シャッターボタンを押している間、連続して撮影を行います。

- 連続撮影速度は、３コマまでは約2コマ／秒で連続撮影。以後はカメラ内部のメモリーが空くのを待ちながらの連続撮影になります。

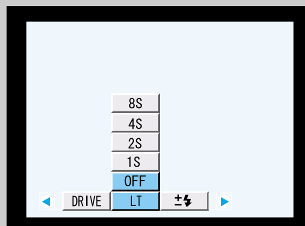
- " " ストロボ強制発光モードを選ぶと、充電完了を待ちながらの連続撮影になります。
- リモコンを使っての連続撮影はできません。

⑥ “LT” ロングタイム撮影

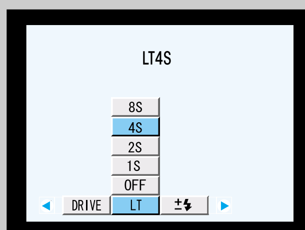
1 秒から 8 秒までの長時間撮影ができます。花火や夜景などの撮影に便利です。

設定できる時間は、1 秒、2 秒、4 秒、8 秒です。

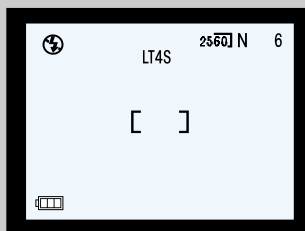
2



3







1 **モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。**

2 **“C MENU” ボタンを押し、“(十字キー)” ボタンの “◄” または “►” で “LT”(ロングタイムモード)を選びます。**

3 **“(十字キー)” ボタンの “▲” または “▼” で希望の “時間” を選び “C MENU” ボタンを押します。**

画面は元の撮影画面に戻りロングタイム時間が表示されます。これで設定完了です。

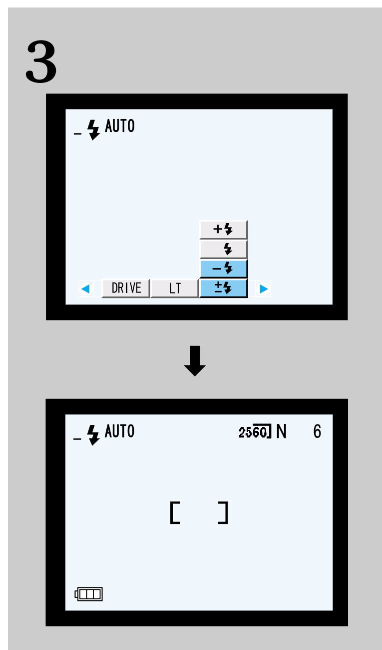
- ストロボモードは “(発光禁止)”(不発光)になります。

4 **撮影します。**

- このモードはオート露出撮影にはなりません。
- “Av” のときは絞りを設定してください。“P” にセットすると絞りは開放(F2.8)になります。
- ロングタイムモード設定後、撮影をしないで途中で解除するときは2～3の手順で “OFF” にセットしてください。
- カメラぶれ防止のため三脚をご使用ください。
- “⚡/🎤” ボタンを押して “⚡AUTO(赤目)”(赤目軽減自動発光モード)にすることができます。夜景と人物を同時に撮るときなどにご利用ください。
- 長時間撮影では画像にノイズが含まれることがあります。
- ロングタイム設定時、露出補正と ABC 設定はできません。。

⑦ ストロボ光量補正

ストロボの発光量を補正することができます。（± 1EV）



1 モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。

2 “C MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “±⚡” を選びます。

3 “ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の項目を選び “C MENU” ボタンを押します。

画面は元の撮影画面に戻りストロボ光量補正マークが表示されます。これで設定完了です。

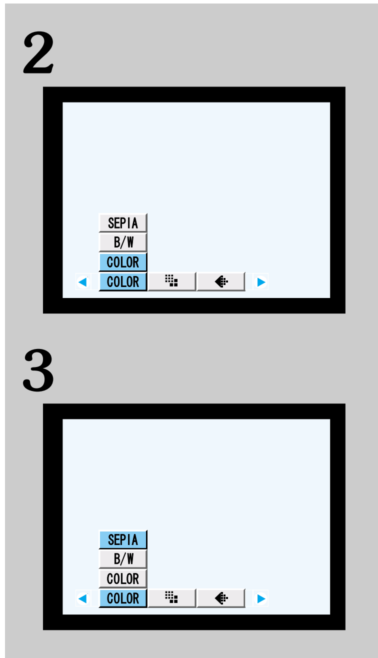
+⚡	強め（+1EV）
⚡	標準
−⚡	弱め（−1EV）

4 撮影します。

● 設定した光量補正はカメラ電源を OFF にしても保持されます。

① カラーを変える撮影

標準設定はカラーですが、セピア調やモノクロで撮影した写真と同じような色合いが選べます。



1 **モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。**

2 **“D MENU” ボタンを押し、“◎” ボタンの “◄” または “►” で “COLOR” を選びます。**

3 **“◎” ボタンの “▲” または “▼” で “B/W”（白黒）または “SEPIA”（セピア）を選び “D MENU” ボタンを押します。**

液晶モニターの画面がセピアまたはモノクロ調に変わり設定完了です。

- “B/W” または “SEPIA” を選択したときは、WB と WB/BKT の設定および彩度の調整はできません。

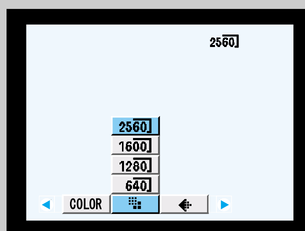
② 画素数と画質の選択

画素数とは、画像を作り上げている一つ一つの点（ドット）の数をいいます。
この点の数が多いほど画像の解像度は上がりますが、画像のファイル容量は大きくなるのでメモリーカードに記録できる枚数は少なくなります。
画質とは、撮影した画像をデータ化する際の圧縮率のことです。
“FINE” は圧縮率を小さくして画像の細かな部分の劣化を抑えます。“NORMAL” は圧縮率を大きくしますので、画像は劣化しますがメモリーカードに記録できる枚数は多くなります。

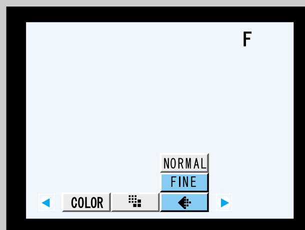
16MB メモリーカード使用時の記録枚数

画素数	画質	
	"F" FINE	"N" NORMAL
"2560" 2560 × 1920	約 4 ～ 6 枚	約 8 ～ 12 枚
"1600" 1600 × 1200	約 10 ～ 15 枚	約 20 ～ 29 枚
"1280" 1280 × 960	約 16 ～ 23 枚	約 30 ～ 43 枚
"640" 640 × 480	約 54 ～ 73 枚	約 88 ～ 112 枚

3



4



1 モードダイヤルを "P" または "Av" にし、カメラ電源を ON にします。

2 "D MENU" ボタンを押し、"◎" ボタンの "◄" または "►" で "▦"（画素数）を選びます。

3 "◎" ボタンの "▲" または "▼" で希望の画素数を選びます。

4 "◎" ボタンの "◄" または "►" で "◈"（画質）を選びます。

5 "◎" ボタンの "▲" または "▼" で希望の画質を選びます。

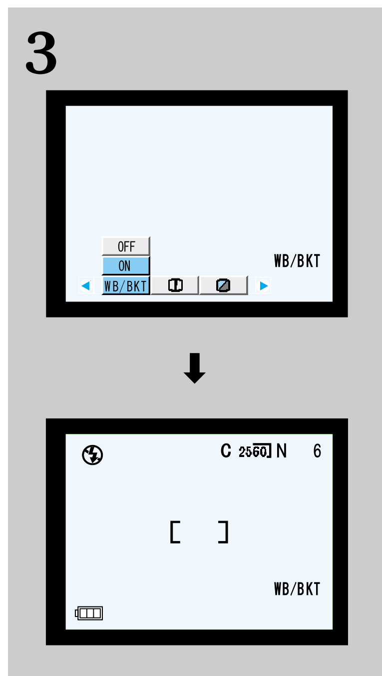
6 "D MENU" ボタンを押します。

画面は元の撮影画面に戻り画素数と画質のマークが表示されます。これで設定完了です。

撮影

③ ホワイトバランスを自動的に3段階変えて撮る（WB/BKT撮影）

“WB/BKT” にセットすると、自動的に標準、オーバー（やや青め）、アンダー（やや赤め）と3段階のバリエーションで撮影ができます。
微妙な光源のもとででも、ホワイトバランスに気を取られることなくシャッターを押して、チャンスを確実にものにすることができます。



1 **モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。**

2 **“D MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◄” または “►” で “WB/BKT” を選びます。**

3 **“ ” ボタンの “▼” を押して “ON” を選び、“D MENU” ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り WB/BKT マークが表示されます。これで設定完了です。

- ストロボモードは “ ”（不発光）になります。
- ホワイトバランス設定値を基準にしたWB/BKT撮影になります。
- カメラ電源をOFFにするとWB/BKT撮影は解除されます。
- ストロボを併用するWB/BKT撮影はできません。
- WB/BKTを “ON” に設定しているときは、カラーモードの “B/W” や “SEPIA” に設定することはできません。
- カラーモードが “B/W” や “SEPIA” のときはWB/BKTは設定できません。

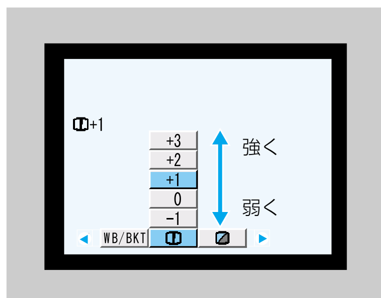
4 **被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを押します。**

シャッターを押すと連続して3回撮影します。

- 残り枚数が3枚未満のときは撮影できません。

④ シャープネス（輪郭強調）の設定

被写体の輪郭の強調度合を調整する機能です。



1 モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。

2 “D MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “ ” を選びます。

3 “ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の数値を選び、“D MENU” ボタンを押します。

元の撮影画面に戻りシャープネスマークと設定値が表示されます。これで設定完了です。

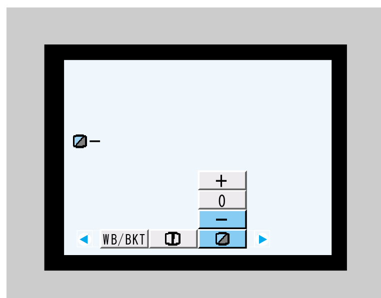
- 設定したシャープネスはカメラ電源をOFFにしても保持されます。

撮影

⑤ 彩度の調整

色の鮮やかさの程度を調整します。

［+］　：あざやかさを高めます。
［0］　：標準
［−］　：あざやかさを抑えます。



1 モードダイヤルを “P” または “Av” にし、カメラ電源を ON にします。

2 “D MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “ ” を選びます。

3 “ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の項目を選び、“D MENU” ボタンを押します。

元の撮影画面に戻り彩度マークが表示されます。これで設定完了です。

- 設定した彩度はカメラ電源を OFF にしても保持されます。

撮　影

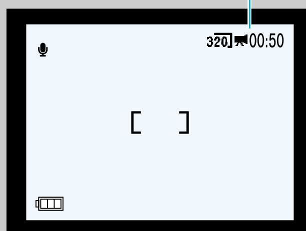
動画の撮影

1. 動画の撮影のしかた

このカメラは動画を撮影することができます。1回の撮影では画素数320×240の場合30秒、160×120の場合は120秒までの撮影が可能です。

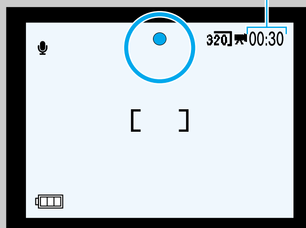
1

カウンター表示
撮影前：記録可能時間
撮影中：撮影可能時間（カウントダウン表示）



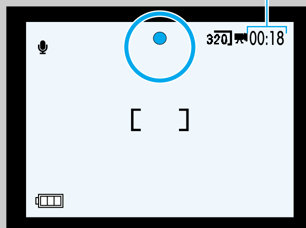
3

撮影可能時間
合焦マーク（緑）



4

撮影可能時間
合焦マーク（赤）：撮影中



1 モードダイヤルを“ ”にし、“POWER”ボタンを押してカメラ電源をONにします。

● 動画撮影では、ストロボは使用できません。

2 液晶モニターを見ながら、構図を決めます。

ズームボタンで大きさを調整します。

3 被写体にフォーカスフレームを向け、シャッターボタンを半押しします。

ピント合わせが行われると液晶モニター内“○”（合焦マーク）が点灯します。

● 撮影中はピントが固定されます。

4 “○”（合焦マーク）の点灯を確認したら、そのままシャッターボタンを全押しすると撮影が始まります。

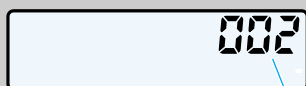
“○”（合焦マーク）が緑から赤に変わり撮影中であることを表示します。また撮影時間もカウント表示されます。

● 撮影中はズームボタンの使用はできません。（音声ありのとき）“音声なし”（P62）設定時には使用できます。

5 シャッターボタンを半押しすると、撮影が終了します。

● 撮影可能時間が経過すると自動的に撮影を停止します。

表示パネル

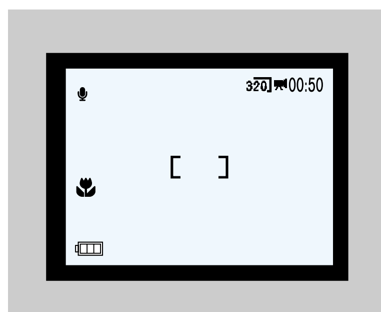


撮影可能回数

● 表示パネルには最長撮影時間（30秒または120秒）での撮影可能回数が表示されます。また残り記録可能時間が最長撮影可能時間より短いときは、回数表示は“000”になります。

2. 撮影が広がるいろいろな機能

動画撮影では次の機能を搭載しています。撮影目的に合わせてご使用ください。

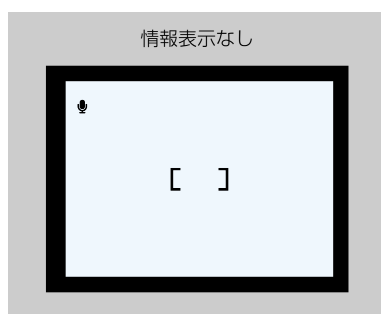


① ピント合わせ

AF（オートフォーカス）、“ ”（マクロオートフォーカス）、MF（マニュアルフォーカス）より選ぶことができます。

“ / MF” ボタンを押して切り替えます。

ボタンを押すごとに “表示無し”（AF）→ “ ”（マクロAF）→ “MF”（マニュアルフォーカス）→ “表示無し”（AF）（以後繰返し）に切り替わります。

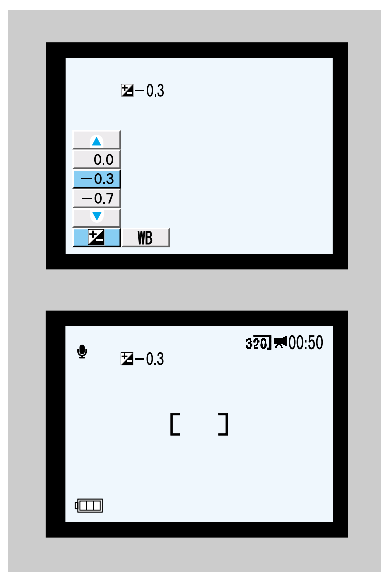


② 液晶モニター表示

情報表示あり、情報表示なし、消灯より選ぶことができます。

“DISPLAY” ボタンを押して切り替えます。

ボタンを押すごとに “情報表示あり” → “情報表示なし” → “消灯” → “情報表示あり”（以後繰返し）に切り替わります。



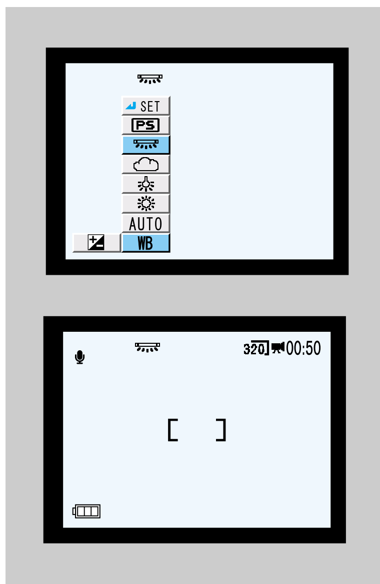
③ 露出補正

静止画と同様に露出補正ができます。（P43）

1 **“± WB ISO” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◄” または “►” で “ ” を選びます。**

2 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の補正値を選び “± WB ISO” ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り補正値が表示されます。これで設定完了です。



④ ホワイトバランスの設定

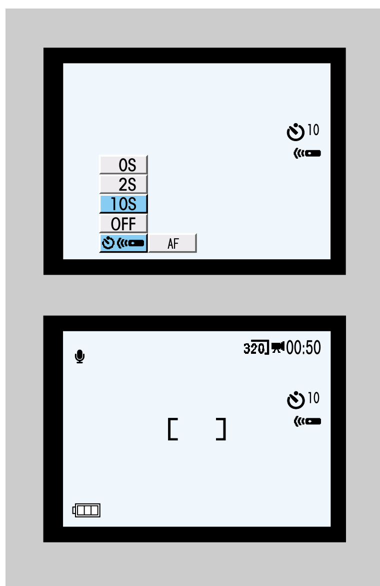
静止画と同様にホワイトバランスの設定ができます。(設定内容とプリセットの詳細は P44 をご覧ください。)

1 **“± WB ISO” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “WB” を選びます。**

2 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の項目を選び “± WB ISO” ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り設定項目が表示されます。これで設定完了です。

撮影



⑤ セルフタイマー／リモコン撮影

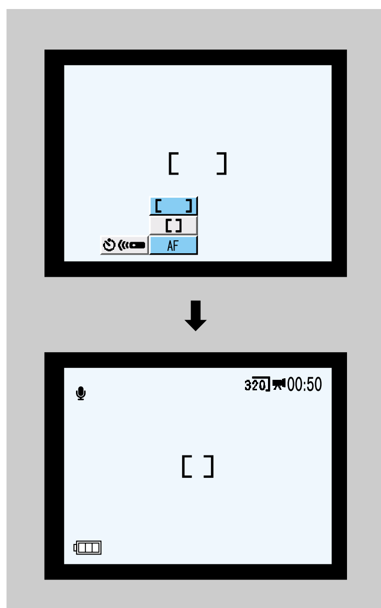
静止画と同様にセルフタイマー／リモコン撮影ができます。(設定内容の詳細は P46 をご覧ください。)

1 **“C MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “ ” を選びます。**

2 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望の項目を選び “C MENU” ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り設定項目が表示されます。これで設定完了です。

- リモコンで動画の撮影開始ができます。またもう一度押すと、動画の撮影を終了します。
- セルフタイマーカウントダウン中は、リモコンでのキャンセルはできません。



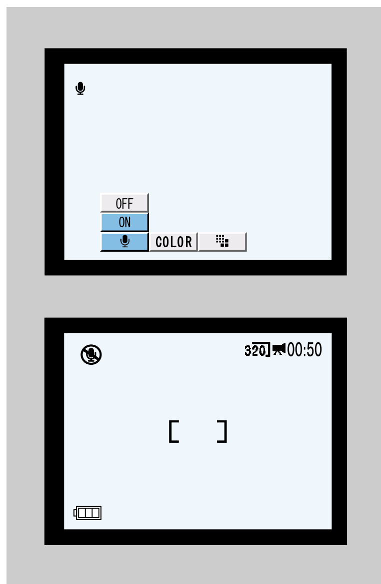
⑥ ピント合わせ範囲の設定

静止画と同じ内容のピント合わせ範囲の設定ができます。（設定内容の詳細は P48 をご覧ください。）

1 **“C MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “AF” を選びます。**

2 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で希望のフォーカスフレームを選び “C MENU” ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り設定に合わせてフォーカスフレームが変わります。これで設定完了です。



⑦ 音声あり／音声なしの設定

動画を撮るとき一緒に音声も記録するか、または音声なしにするかの設定ができます。

“ON”（音声あり）：音声付きの動画が撮れますが撮影中のズーミングはできません。

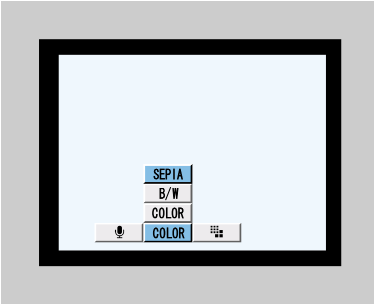
“OFF”（音声なし）：動画に音声は付きませんが撮影中のズーミングができます。

- このカメラでは、ズーミング音を拾わないために、音声ありの動画では撮影中のズーミングができない仕様になっています。
- 動画にアフレコ（撮影後の再録音）はできません。

1 **“D MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “ ” を選びます。**

2 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で “ON” または “OFF” を選び “D MENU” ボタンを押します。**

元の撮影画面に戻り “ ”（音声あり）または “ ”（音声なし）が表示されます。これで設定完了です。



⑧ カラーを変えます

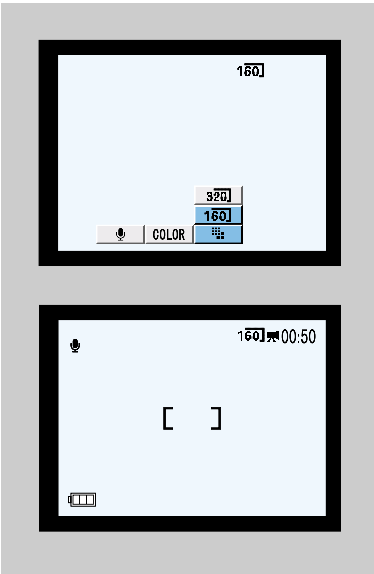
静止画と同様にカラー、B/W（白黒）、SEPIA（セピア）を選ぶことができます。

1 "D MENU" ボタンを押し、"◎" ボタンの "◄" または "►" で "COLOR" を選びます。

2 "◎" ボタンの "▲" または "▼" で "B/W"（白黒）または "SEPIA"（セピア）を選び "D MENU" ボタンを押します。

液晶モニターの画面がセピアまたはモノクロ調に変わります。これで設定完了です。

- "B/W" または "SEPIA" を選択したときは、WBの設定はできません。



⑨ 画素数の設定

動画では 2 種類の画素数を選ぶことができます。

（320 "320 × 240"（初期設定）または 160 "160 × 120"）

- このモードではカメラ電源をOFFにしても設定が保持されます。

1 "D MENU" ボタンを押し、"◎" ボタンの "◄" または "►" で "▦" を選びます。

2 "◎" ボタンの "▲" または "▼" で "160" または "320" を選び "D MENU" ボタンを押します。

元の撮影画面に戻り設定した画素数が表示されます。これで設定完了です。

撮影

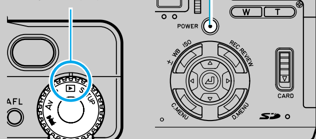
再生と消去

再生メニュー機能は次のようになります。(○：できます。×：できません。)

	マルチ表示 シングル表示	アフレコ	プロテクト	消去	全消去	リサイズ	回転	スライドショー	プリント
静止画	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動画	○	×	○	○	○	×	×	○	×

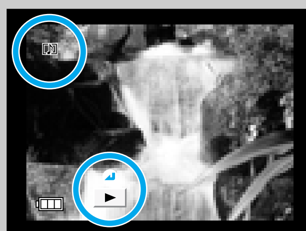
静止画の再生と消去

1. 液晶モニターで再生する



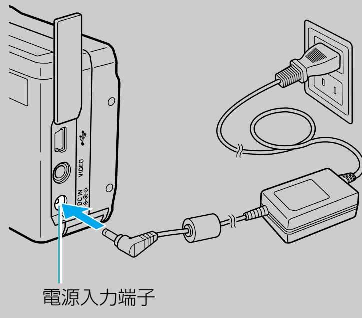
1 モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をONにします。





2 液晶モニターに最後に撮影された画像が再生されます。撮影した順に、“◎”ボタンの“►”で順送り、“◄”で逆送りができます。

- 音声付き静止画は“[♪]”と“▶”のマークが表示されます。“◎”ボタンの“◢”を押すと音声が再生されます。また音声再生中に“▲”または“▼”ボタンで音量を調整します。（P71）



長時間使用する場合は、ACアダプターをつないでください。

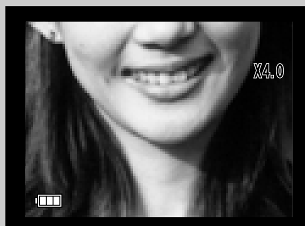
- 撮影済みのメモリーカードが入っていることをご確認ください。

2. 再生画像のクローズアップ（2倍、4倍）

1



2



3



再生した画像を２倍または４倍に拡大することができます。

1 拡大したい画像を表示します。

2 “T”（テレ）ズームボタンを押します。

“T”ズームボタンを１度押すと画像の中央部が２倍に、もう１度押すと４倍に拡大され、画面右上に“×２”または“×４”が表示されます。

3 “（ボタン）”ボタンの“▲”、“▼”、“◄”、“►”を使って表示したい領域を選びます。

- 拡大を解除するときは“W”（ワイド）ズームボタン押して元の表示状態に戻してください。

3. 撮影時の情報表示（インフォメーション表示）

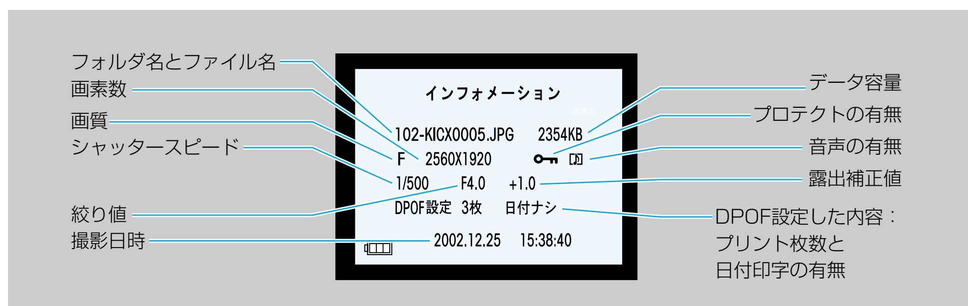
画像を撮影したときの絞り値、シャッタースピード、露出補正値などを表示することができます。この表示をインフォメーション表示といいます。

1 インフォメーション表示したい画像を表示します。

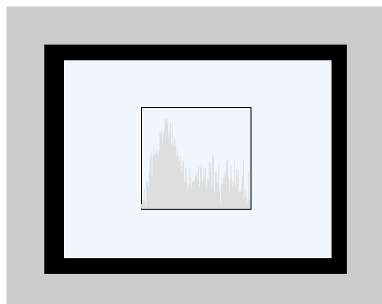
2 “(十字キー)”ボタンの“▲”または“▼”を押します。

画像と一緒に撮影時の設定内容が表示されます。

3 再度“▲”または“▼”を押すと元の表示に戻ります。



4. ヒストグラム表示（明るさ分布グラフ）



撮影画像の明るさ分布を確認することができます。露出の過不足や、画像処理ソフトを使っての加工時の参考にします。（静止画のみ）

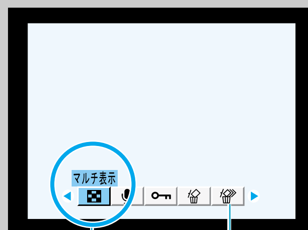
1 ヒストグラム表示したい画像を表示します。

2 “DISPLAY”ボタンを押すとヒストグラムが表示されます。

● もう一度“DISPLAY”ボタンを押すと元の表示に戻ります。

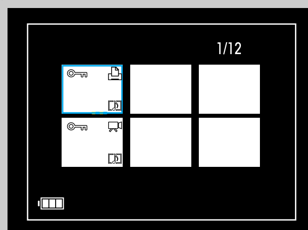
ヒストグラムは、撮影した画像の明るさ分布グラフです。分布が左によるほど暗い画像になり、右によるほど明るい画像になります。（横軸が明暗、縦軸が分布量です。）

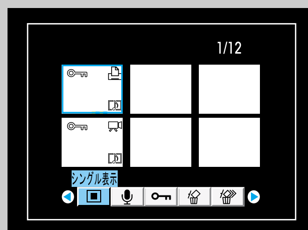
2



マルチ表示　メニュー表示

3　マルチ表示画面





液晶モニターに6画面ずつ再生します。たくさんの画像を選ぶときに便利な機能です。また、この機能は他の再生メニューと使うこともできます。

1 **モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をON にします。**

2 **“D MENU”ボタンを押し、“ ”ボタンの“◀”または“▶”で“ ”（マルチ表示）を選び、“ ”を押します。**

液晶モニターの画面がマルチ再生の画面に変わります。
画面内マークは次のことを示します。

- プロテクトされている画像：
- 音声付き：
- 動画：
- DPOF 設定：

3 **“ ”ボタンの“▲”、“▼”、“◀”、“▶”で画像を選びます。**

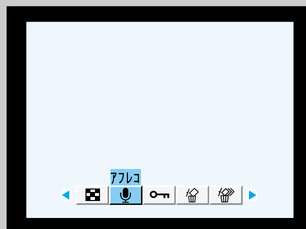
4 **“ ”ボタンの“ ”を押すと選んだ画像が通常表示（シングル表示）になります。**

〈便利な使いかた〉

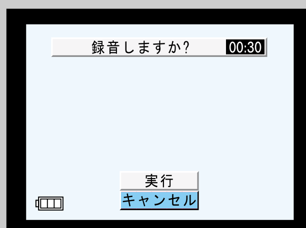
マルチ表示中に“D MENU”ボタンを押すとアフレコやプロテクト、消去等の機能も使えます。“ ”ボタンの“◀”または“▶”で機能を選んでください。

- 機能表示中、画像の選択はできません。“D MENU”ボタンを押して機能表示を消すと画像の選択ができます。
- マルチ表示では、回転の設定はできません。

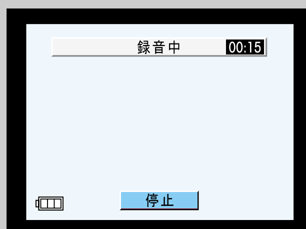
2



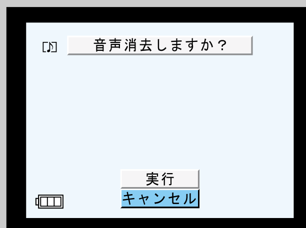




4



5



撮った画像（静止画）に音声を入れたり、消したりすることができます。

〈録音のしかた〉

1 モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をONにします。

2 “D MENU”ボタンを押し、“◎”ボタンの“◀”または“▶”で“🎤”（アフレコ）を選び、“⏎”を押します。

液晶モニターには［録音しますか？］が表示されます。

- “D MENU”ボタンを押さず“ϟ/🎤”ボタンを押しても［録音しますか？］の画面になります。

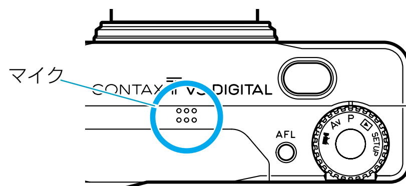
3 “◎”ボタンの“◀”または“▶”で録音したい画像を表示します。

- 録音済み画像の場合は“[♪]”と［音声消去しますか？］の表示がでます。録音し直す時は音声消去（P71）してください。

4 “▲”で［実行］を選んで“⏎”を押すと、録音を始めます。カメラのマイクに向かってメッセージをお話しください。

液晶モニターに録音できる残りの秒数をカウントダウン表示します。

- 最長30秒まで録音できます。



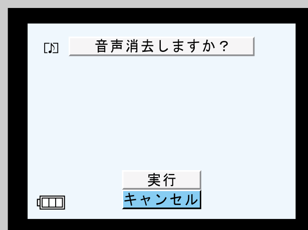
5 もう一度“⏎”を押すと、録音を終了します。

［音声消去しますか？］の画面に変わります。

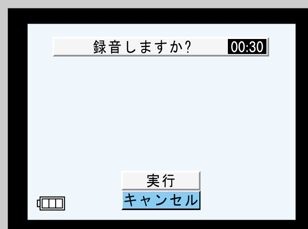
6 “D MENU”ボタンを押すと通常表示（シングル表示）に戻ります。

- プロテクトしてある画像はアフレコできません。

3



4



〈音声消去のしかた〉

音声付き静止画の音声を消去するときの手順です。
消去した音声を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

1 **モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をON にします。**

2 **“ ”ボタンの“◀”または“▶”で音声消去したい画像を選びます。**

音声付き静止画は液晶モニターに“[♪]”が表示されます。

3 **“D MENU”ボタンを押し、“ ”ボタンの“◀”または“▶”で“🎤”（アフレコ）を選び、“ ”を押します。**

液晶モニターには［音声消去しますか？］が表示されます。

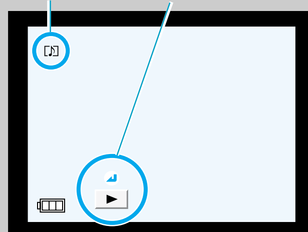
4 **“▲”で［実行］を選んで“ ”を押します。**

音声が消去され［録音しますか？］の画面に変わります。

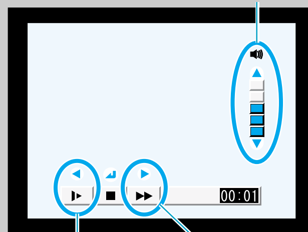
5 **“D MENU”ボタンを押すと通常表示（シングル表示）に戻ります。**

- プロテクトしてある画像の音声消去はできません。

音声マーク　音声標準再生



音量調節



音声 1/2 倍速再生　音声倍速再生

〈音声再生のしかた〉

音声付き静止画は図のように表示されます。

“ ”を押すと音声再生が始まります。

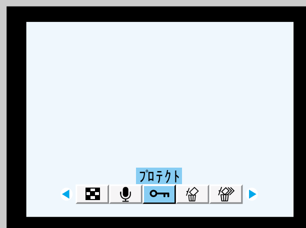
- 再度“ ”を押すと音声再生を停止します。
- “▲”または“▼”を押して音量の調節をします。
- “▶”を押し続けると音声の倍速再生になり、離すと標準再生に戻ります。
- “◀”を押し続けると音声の1/2倍速再生（遅くなる）になり、離すと標準再生に戻ります。

7. [プロテクト] 画像の保護

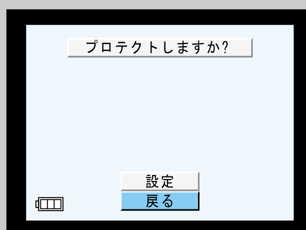
大切な画像を間違って消さないようにする機能です。
この機能は、複数の画像を削除するとき、全消去（P73）の機能と併せて使うと便利です。

- プロテクトした画像は、全消去では残りますが、フォーマットすると消去されてしまいますのでご注意ください。

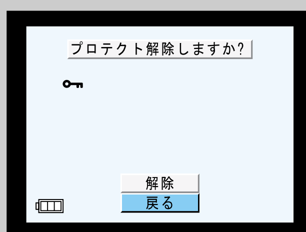
2



3



4



1 モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をONにします。

2 “D MENU”ボタンを押し、“◎”ボタンの“◀”または“▶”で“O┳”（プロテクト）を選択し、“⏎”を押します。
液晶モニターには［プロテクトしますか？］が表示されます。

3 “◎”ボタンの“◀”または“▶”でプロテクトしたい画像を選びます。

4 “▲”で［設定］を選び、“⏎”を押すと画像のプロテクト完了です。
液晶モニターには“O┳”マークと［プロテクト解除しますか？］が表示されます。

- 解除する場合は“▲”で［解除］を選び“⏎”を押します。（O┳マークが消えます。）

複数画像へのプロテクトを続ける場合は３～４の操作を繰り返してください。

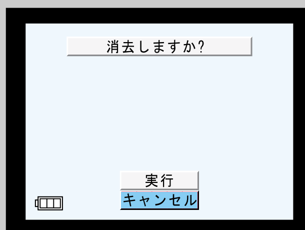
5 “D MENU”ボタンを押すと通常表示（シングル表示）に戻ります。

- 設定後、プロテクトされた画像を確認するときはインフォメーション（P68）を表示するか、マルチ再生（P69）で“O┳”マークを確認してください。

2



3



〈1画像消去〉

1 **モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をONにします。**

2 **“D MENU”ボタンを押し、“ ”ボタンの“◀”または“▶”で“ ”（消去）を選び、“ ”を押します。**
液晶モニターには［消去しますか？］が表示されます。

3 **“ ”ボタンの“◀”または“▶”で消去したい画像を選びます。**

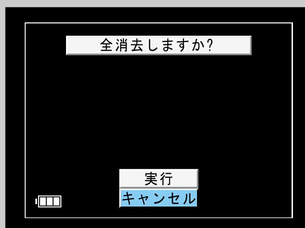
4 **“▲”で［実行］を選び“ ”を押します。**

- 消去が完了すると消去した次の画像が表示されます。
- 音声付き画像の場合は、音声も一緒に消去されます。
- プロテクトした画像は消去できません。プロテクトを解除（P72）してから消去してください。

1







〈全画像消去〉

1 **モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をONにします。**

2 **“D MENU”ボタンを押し、“ ”ボタンの“◀”または“▶”で“ ”（全消去）を選び、“ ”を押します。**
液晶モニターには［全消去しますか？］が表示されます。

3 **“▲”で［実行］を選び“ ”を押します。**

- 音声付き画像の場合は、音声も一緒に消去されます。
- 消去が完了すると［画像がありません］メッセージまたはプロテクトされていた画像が表示されます。
- プロテクトした画像は消去できません。プロテクトを解除（P72）してから消去してください。
- 他のカメラで撮影した画像は消去できないことがあります。

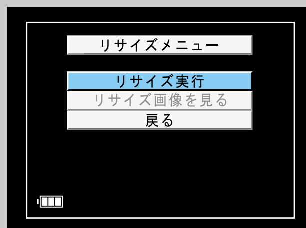
9. [リサイズ] 画素数の変更とトリミングをする

撮った画像の画素数を変更（リサイズ）と切り取る（トリミング）ことができます。リサイズやトリミングした画像は新たな画像として保存されますので、元の画像は残しておくことができます。(静止画のみ)

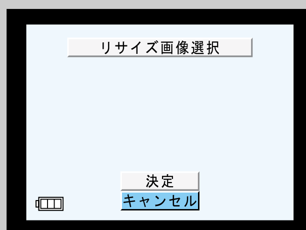
2



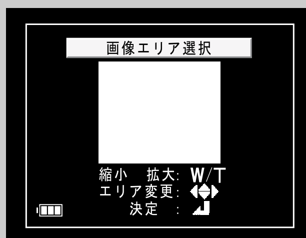
3



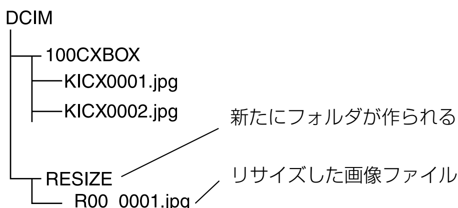
4



5



● リサイズした画像は次のように記録されています。



〈リサイズのしかた〉

1 モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をONにします。

2 “D MENU”ボタンを押し、“ ”ボタンの“◄”または“►”で“ ”（リサイズ）を選択し、“ ”を押します。

[リサイズメニュー] 画面になります。

3 “ ”ボタンの“▲”または“▼”で [リサイズ実行] を選び“ ”を押します。

[リサイズ画像選択] 画面になります。

4 “ ”ボタンの“◄”または“►”でリサイズする画像を選択し、“▲”で [決定] を選び“ ”を押します。

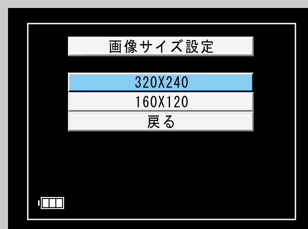
画像エリア選択の画面になります。

5 リサイズする範囲を決めます。

画像エリア選択画面に表示されている範囲で画像をリサイズします。

“T”、“W”ボタンを押して拡大率（1倍、2倍、4倍）を、“ ”ボタンの“▲／▼／◄／►”で位置を決めたら“ ”を押します。

6



7

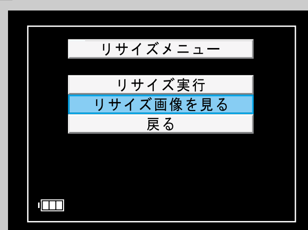


6 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で画像サイズを選択し、“ ” を押します。**

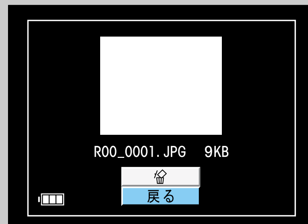
7 **リサイズした新たな画像の名前が表示されますので確認したら “ ” を押します。**

8 **作業終了は “D MENU” ボタンを押します。**

1 リサイズ画像の確認と消去



3



〈リサイズした画像の確認と消去〉

リサイズした画像は通常の再生では確認できません。次の手順で表示させてください。

リサイズのしかたの２まで同じ操作です。

1 **“ ” ボタンの “▲” または “▼” で［リサイズ画像を見る］選び “ ” を押します。**

リサイズした画像が表示されます。

2 **“ ” ボタンの “◄” または “►” で画像の順送り、逆送りを行います。**

3 **消去する場合は、“ ” ボタンの “▲” で “ ” を選び “ ” を押します。**

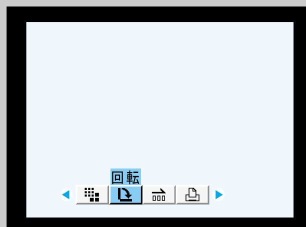
- ここでの消去は確認画面がなく、決定ボタンを押すと画像の消去は完了しますので、ご注意ください。

4 **作業の終了は “D MENU” ボタンを押します。**

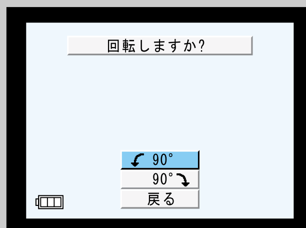
再生と消去

10.［回転］画像を回転させる

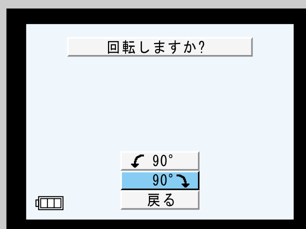
2



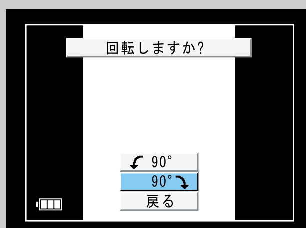
3



4



5



画像を右90°または左90°に回転させせます。（静止画のみ）

1 **モードダイヤルを“▶”にして、カメラの電源をONにします。**

2 **“D MENU”ボタンを押し、“◎”ボタンの“◀”または“▶”で“回転アイコン”（回転）を選び“決定”を押します。**

液晶モニターには［回転しますか？］が表示されます。

3 **“◎”ボタンの“◀”または“▶”で回転させたい画像を選びます。**

4 **“◎”ボタンの“▲”または“▼”で［↶ 90°］を選び“決定”を押します。**

［↶ 90°］: 左に90°回転します。
［90° ↷］: 右に90°回転します。
［戻る］: 作業を中止してメニュー表示に戻ります。

5 **回転した画像が表示されます。**

- 続けて作業をするときは3～4の作業を繰り替えします。

6 **作業の終了は“D MENU”ボタンを押します。**

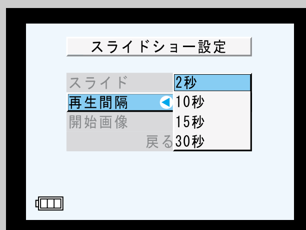
- プロテクトしてある画像の回転はできません。

11.［スライドショー］画像を連続表示させる

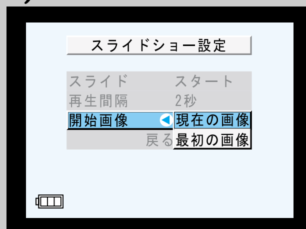
2



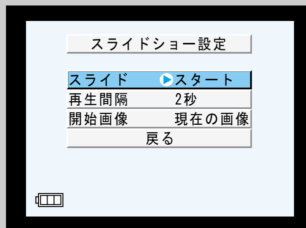
4



5, 6



7



画像を一定間隔で撮影した順に表示させせます。

1 モードダイヤルを “[▶]” にして、カメラの電源を ON にします。

2 “D MENU” ボタンを押し、“◎” ボタンの “◀” または “▶” で “[スライドショーアイコン]”（スライドショー）を選択し、“[決定ボタン]” を押します。

液晶モニターには［スライドショー設定］画面が表示されます。

3 “◎” ボタンの “▲” または “▼” で［再生間隔］を選び “▶” を押します。

4 “▲” または “▼” で再生間隔の時間を選び “[決定ボタン]” を押します。

5 “▲” または “▼” で［開始画像］を選び “▶” を押します。

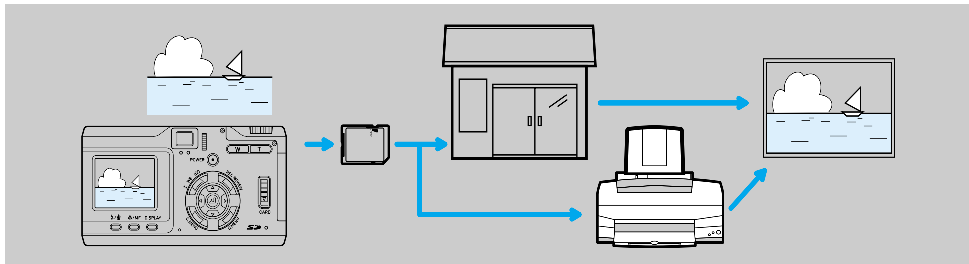
6 “▲” または “▼” で［現在の画像］または［最初の画像］を選び “[決定ボタン]” を押します。

7 “▲” または “▼” で［スライド］を選び “[決定ボタン]” を押すとスライドショーが始まります。

8 スライドショーを終わらせるときは “[決定ボタン]” を押します。

12. [プリント] DPOFでプリントの設定をする

DPOFとは、デジタルカメラで撮影した画像を家庭用プリンタやプリント取扱店でプリントするための規格です。（静止画のみ）
プリントする枚数の指定や日付の印字指定などの簡単な設定ができます。ご使用のプリンタ、プリント取扱店がDPOFサービスに対応しているかご確認ください。この機能については、お使いのDPOF対応プリンターの取扱説明書も合わせてお読みください。



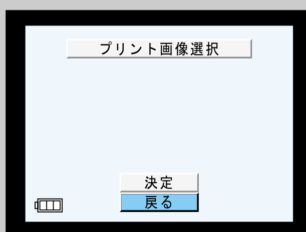
2



3



4



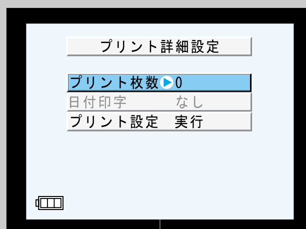
1 **モードダイヤルを“▶”にして、カメラの電源をONにします。**

2 **“D MENU”ボタンを押し、“◎”ボタンの“◀”または“▶”で“🖨”（プリント）を選び、“↵”を押します。**
[プリント設定] 画面になります。

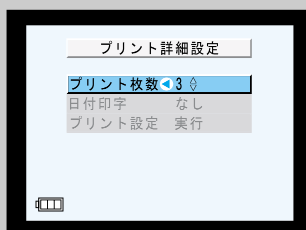
3 **“◎”ボタンの“▲”または“▼”で [プリント] を選び“▶”を押します。**
[プリント画像選択] 画面になります。

4 **“◎”ボタンの“◀”または“▶”で画像を選びます。そして“▲”で [決定] を選んで“↵”を押します。**
[プリント詳細設定] 画面になります。

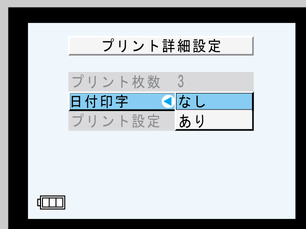
5



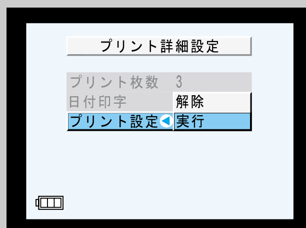
6



8



10



5 **“▲” または “▼” で [プリント枚数] を選び、“►” を押します。**

6 **“▲” または “▼” で枚数を決め、“◢” を押します。**

7 **“▲” または “▼” で [日付印字] を選び、“►” を押します。**

8 **“▲” または “▼” で [あり] または [なし] を選び “◢” を押します。**

9 **“▲” または “▼” で [プリント設定] を選び、“►” を押します。**

10 **“▲” または “▼” で [実行] を選び “◢” を押すと DPOF 設定は完了です。**

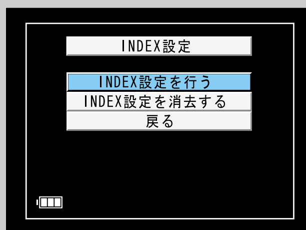
[プリント設定] 画面に戻ります。

- 他の画像のDPOF設定を続ける場合は、3～10の操作を繰り替えします。
- 設定をキャンセルするときは、10で [解除] を選びます。

3



4



〈インデックスプリントの設定〉

メモリーカードに記録されている画像の一覧をプリント設定します。

DPOFの設定のしかた（P78）の2まで同じ操作です。

3 "◎" ボタンの "▲" または "▼" で［INDEX］を選び、"►" を押します。

［INDEX 設定］画面になります。

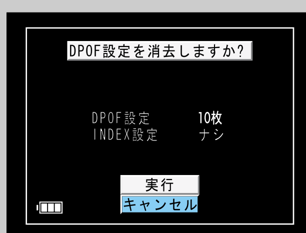
4 "▲" または "▼" で［INDEX 設定を行う］を選び "◢" を押すと、設定完了です。

［プリント設定］画面に戻ります。

3



4



〈プリント設定を全て解除する〉

DPOFの設定のしかた（P78）の2まで同じ操作です。

3 "◎" ボタンの "▲" または "▼" で［全解除］を選び、"►" を押します。

［DPOF 設定を消去しますか？］の画面になります。

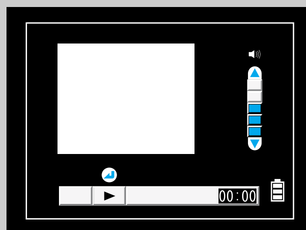
4 "▲" で［実行］を選び "◢" を押すと、設定完了です。

［プリント設定］画面に戻ります。

再生と消去

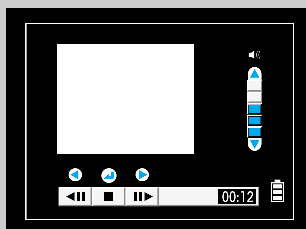
動画の再生と消去

1

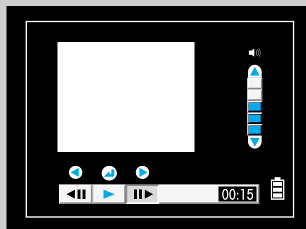


3

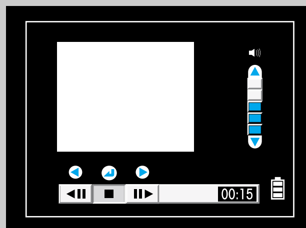
再生中



コマ送り



4



長時間使用する場合は、AC アダプターをつないでご使用ください。

● 撮影済みのメモリーカードが入っていることをご確認ください。

1 モードダイヤルを“▶”にして、カメラの電源を ON にします。

動画再生は図のような画面になります。

2 “(十字ボタン)”ボタンの“◀”または“▶”で再生する画像を選びます。

● 記録画像が多い場合は、選択に便利なマルチ再生（P69）をご利用ください。

3 “(ボタン)”を押すと再生がスタートし、図のような再生中画面になります。

再生中に“◀”または“▶”を押すと押すごとにコマ送りまたはコマ戻しを行います。また2秒以上押し続けると押している間、連続コマ送りまたは連続コマ戻しになります。
再生中に“▲”または“▼”で再生音量を調整してください。

● コマ送り、コマ戻しを行った場合、“(ボタン)”を押すと動画再生を開始します。
● コマ送り、コマ戻し中は、音声は出ません。

4 “(ボタン)”を押すと再生を停止します。

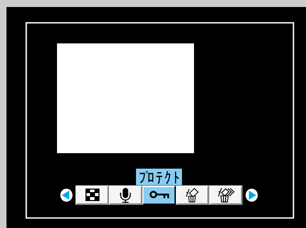
“◀”または“▶”で次に再生する画像を選びます。

2. 動画のプロテクト（画像の保護）

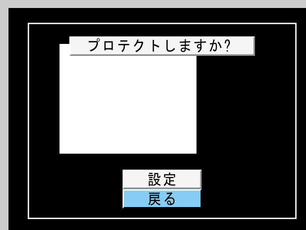
大切な画像を間違って消さないようにする機能です。
この機能は、複数の画像を削除するとき、全消去（P84）の機能と併せて使うと便利です。

- プロテクトした画像は、全消去では残りますが、フォーマットすると消去されてしまいますのでご注意ください。

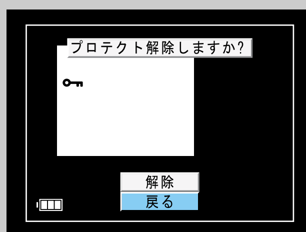
2



3



4



1 **モードダイヤルを“▶”にし、カメラの電源をON にします。**

2 **“D MENU”ボタンを押し、“◎”ボタンの“◀”または“▶”で“O‑π”（プロテクト）を選択し、“⏎”を押します。**

液晶モニターには［プロテクトしますか？］が表示されます。

3 **“◎”ボタンの“◀”または“▶”でプロテクトしたい画像を選びます。**

4 **“▲”で［設定］を選び、“⏎”を押すと画像のプロテクト完了です。**

液晶モニターには“O‑π”マークと［プロテクト解除しますか？］が表示されます。

- 解除する場合は“▲”で［解除］を選び“⏎”を押します。（O‑π マークが消えます。）

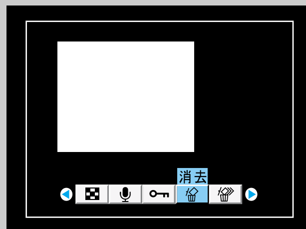
複数画像へのプロテクトを続ける場合は３〜４の操作を繰り返してください。

5 **作業の終了は“D MENU”ボタンを押します。**

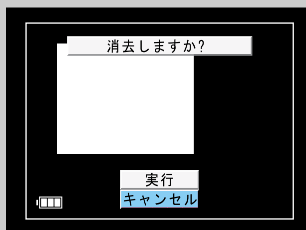
- 設定後、プロテクトされた画像を確認するときはマルチ再生（P69）で“O‑π”マークを確認してください。

再生と消去

2



4



〈1 画像消去〉

1 モードダイヤルを “▶” にして、カメラの電源を ON にします。

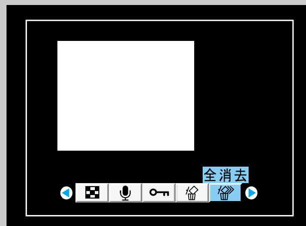
2 “D MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “ ” （消去）を選び、“ ” を押します。
液晶モニターには［消去しますか？］が表示されます。

3 “◀” または “▶” で消去したい画像を選びます。

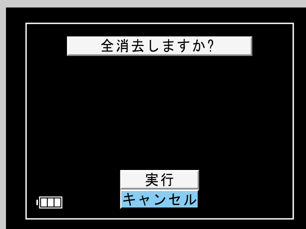
4 “▲” で［実行］を選んで “ ” を押します。

- 消去が完了すると消去した次の画像が表示されます。
- 音声付き画像の場合は、音声も一緒に消去されます。
- プロテクトした画像はプロテクトを解除（P83）してから消去してください。

2







〈全画像消去〉

1 モードダイヤルを “▶” にして、カメラの電源を ON にします。

2 “D MENU” ボタンを押し、“ ” ボタンの “◀” または “▶” で “ ” （全消去）を選び、“ ” を押します。
液晶モニターには［全消去しますか？］が表示されます。

3 “▲” で［実行］を選んで “ ” を押します。

- 消去が完了すると［画像がありません］メッセージまたはプロテクトされていた画像が表示されます。
- 音声付き画像の場合は、音声も一緒に消去されます。
- プロテクトした画像はプロテクトを解除（P83）してから消去してください。
- 他社製のカメラで撮影した画像は消去できないことがあります。

SET UPの
機能と使いかた

セットアップ

1. セットアップ機能一覧表

このカメラには次の表のように、“SET UP C” 7 項目 “SET UP D” 15 項目の計 22 項目の “セットアップ機能” を搭載しています。お買い上げ時は、標準的な機能（初期設定）にセットしてあります。（この取扱説明書では “初期設定” の状態で説明しています。）
セットアップ設定内容を変更したい場合は「2. セットアップ内容の変更のしかた」（P87）をご覧ください。

〈“SET UP C.” 一覧〉

項目 ＼ 内容	初期設定	変更設定			
1. ⚡ デフォルト	⚡ AUTO	⚡ [赤目] AUTO	⚡ OFF	⚡	⚡ [夜景] [赤目] AUTO
2. ABC 順序	(0) / + / −	+ / (0) / −			
3. AFL 継続時間	1 コマ	電源 ON 中			
4. AFL 機能	AF ロック	AF・AE ロック			
5. 露出補正時間	電源 ON 中	設定解除まで			
6. 露出補正幅	0.3EV	0.5EV			
7. MF の継続時間	電源 ON 中	設定解除まで			

〈“SET UP D.” 一覧〉

項目 ＼ 内容	初期設定	変更設定			
1. 液晶の明るさ	標準	＋2	＋1	−1	−2
2. 日付設定	2002.01.01	−	−	−	−
3. 日付写し込み	なし	あり			
4. フォーマット	−				
5. オート OFF	3 分	1 分	6 分	しない	
6. 電子ズーム	OFF	ON			
7. 操作音量	＋2	OFF	＋1	＋3	
8. シャッター音量	＋2	OFF	＋1	＋3	
9. 選択色変更	ブルー	パープル	レッド	イエロー	
10. 起動画面	CONTAX 画面	ユーザー設定	OFF		
11. A・REC レビュー	OFF	2 秒	4 秒		
12. 言語 LANGUAGE	日本語	ENGLISH	FRANÇAIS	DEUTSCH	ESPAÑOL
13. ビデオ出力	NTSC	PAL			
14. 連番リセット	−				
15. 設定リセット	−				

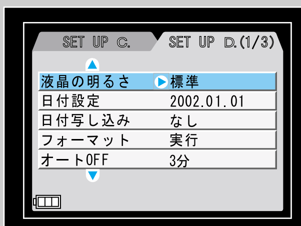
2.“セットアップ内容”の変更のしかた

2

〈SET UP C.〉



〈SET UP D.〉



3, 4

〈例：デフォルトの変更〉







1 モードダイヤルを“SETUP”にして、カメラの電源をONにします。

2 “C MENU”ボタンを押すと“SET UP C.”の項目が表示されます。“D MENU”ボタンを押すと“SET UP D.”の項目が表示されます。

- “SET UP D”は1/3〜3/3の画面があります。ボタンの“▲”または“▼”で項目を選んでください。

3 “”ボタンの“▲”または“▼”で項目を選び、“►”を押します。

変更できる内容が表示されます。

4 “”ボタンの“▲”または“▼”で［内容］を選び“”を押します。

［項目表示］に戻ります。

- 日付設定は、P17をご覧ください。
- 起動画面設定は、P93をご覧ください。

3. セットアップ内容

〈"SET UP C"〉（セットアップ　C）

1. ⚡デフォルト
撮影モード（P または Av）時、カメラ電源を ON した時にセットされるストロボモードを選べます。

⚡AUTO：　自動発光
⚡👁AUTO：　赤目軽減自動発光
⚡OFF：　発光禁止
⚡：　強制発光
⚡★👁AUTO：　夜景ポートレート

2. ABC 順序
ABC 撮影での露出補正順序が選べます。
① （0）/ ＋ / － .... スタンダード／オーバー／アンダーの順で撮影が行われます。
② ＋ /（0）/ － .... オーバー／スタンダード／アンダーの順で撮影が行われます。

● ABC 撮影の詳細は P50 をご覧ください。

3. AFL 継続時間
AFL ボタンによる AFL（オートフォーカスロック）設定の継続時間が変えられます。
① 1 コマ .... 1 画像撮影すると解除されます。
② 電源 ON 中 .... カメラ電源を ON している間（カメラ電源 OFF で解除）

● AFL ボタンによる撮影については P40 をご覧ください。

4. AFL 機能
AFL ボタンの機能を変えることができます。
① AF ロック .... AF（オートフォーカス）が固定されます。
② AF・AE ロック ... AF（オートフォーカス）と AE（露出）が固定されます。

● AFL ボタンによる撮影については P40 をご覧ください。

5. 露出補正時間
露出補正設定の継続時間を変えることができます。
① 電源 ON 中 .... カメラ電源を ON している間（カメラ電源 OFF で解除）
② 設定解除まで ...... 露出補正設定を解除するまで（カメラ電源 OFF では解除されません。）

● 露出補正については P43 をご覧ください。

6. 露出補正幅
ABC 撮影時の露出補正幅を変えることができます。
① 0.3EV .... 露出補正幅が± 0.3EV になります。
② 0.5EV .... 露出補正幅が± 0.5EV になります。

● ABC 撮影については P50 をご覧ください。

7. MF の継続時間

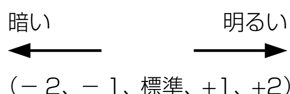
マニュアルフォーカス距離設定の継続時間を変えることができます。

① 電源 ON 中 .... カメラ電源を ON している間（カメラ電源 OFF で解除）
② 設定解除まで ...... "🌷/MF" ボタンで MF 設定を解除するまで
（カメラの電源 OFF では解除されません。）

〈"SET UP D"〉（セットアップ　D）

1. 液晶の明るさ

液晶モニターの明るさを 5 段階で調整します。



（− 2、− 1、標準、+1、+2）

2. 日付設定

カメラに日付、時刻を設定します。設定方法は P17 をご覧ください。

3. 日付写し込み

撮影画像に"日付"のデータを入れるか入れないかを選ぶことができます。

① なし　② あり（一度写し込むと消去できません。）

4. フォーマット（メモリーカードの初期化）

メモリーカードに記録されている画像やフォルダーを全て（含む音声）削除します。プロテクトしてある画像も消されますので、記録内容を十分確認してから行って下さい。

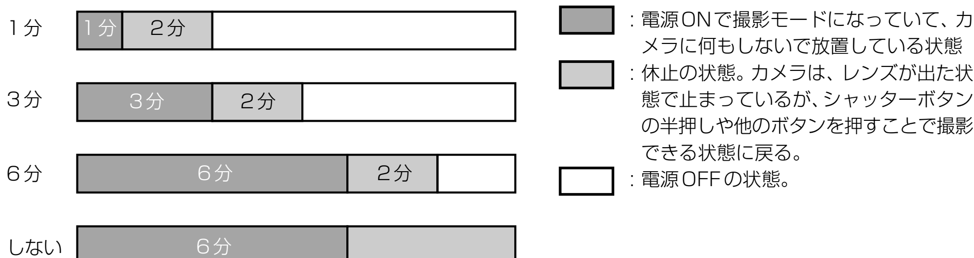
● "フォーマット"のしかたについては P92 をご覧ください。

5. オート OFF

カメラ電源を ON したままにしておくと電源が自動的に OFF になるオート OFF 機能を搭載しています。電源の切り忘れを防ぎ電池の消耗を抑えます。

① しない　② 1 分　③ 3 分　④ 6 分から選ぶことができます。

● 初期設定は3分になっています。①のしないを設定したときは、電源は自動的にOFFになりません。電源の切り忘れにご注意ください。



セットアップ

6. 電子ズーム

“Av、P” モード時、光学ズームに加えて電気的に拡大します。光学ズームと組み合わせて最大 12 倍までのズーミングができます。電子ズーム使用時は液晶モニターに倍率が表示されます。
使い方は “T”（テレ）ズームボタンを押して光学ズーム拡大が最大になるまでズームしたら、一旦ボタンから指を離し、再び押すと電子ズームが始まります。電子ズーム使用時は液晶モニター倍率が表示されます。

① OFF .... 電子ズームは使えません。
② ON .... 電子ズームが使えます。（x1.3、x1.6、x2.0、x3.0、x4.0）

- 電子ズームは信号処理で画素を補完するため画質は劣化します。
- 電子ズームを使用して撮影する場合は液晶モニターを使用して撮影してください。光学ファインダーでは電子ズームした画像は確認できません。

7. 操作音量

操作音量を調整することができます。

① OFF　② ＋１　③ ＋２　④ ＋３　から選ぶことができます。

- 初期設定は③の＋２になっています。
- 起動音も同時に音量調整します。

8. シャッター音量

シャッター音量を調整します。

① OFF　② ＋１　③ ＋２　④ ＋３　から選ぶことができます。

9. 選択色変更

各モードのメニューやメニュー内容を選択するときのカーソルの色を変えることができます。

① ブルー　② パープル　③ レッド　④ イエロー　から選ぶことができます。

10. 起動画面

カメラ電源を ON したときの起動画面を次の３種類から選ぶことができます。

① CONTAX 画面 ....（初期設定）
② ユーザー設定画面 .... メモリーカードに保存されている画像を起動画面に設定できます。
③ OFF 画面 .... 起動画面を表示しません。

- 詳細は “起動画面の設定”（P93）をご覧ください。

11. A・REC レビュー（オートレックレビュー）

撮影直後、撮った画像を自動で表示させることができます。（静止画撮影のみ）
また、表示時間を選ぶことができます。

① OFF（自動表示しない）　② ２秒　③ ４秒

12. 言語 LANGUAGE

液晶モニターに表示される言語を次の５種類から選ぶことができます。

① 日本語　② ENGLISH　③ FRANÇAIS　④ DEUTSCH　⑤ ESPAÑOL

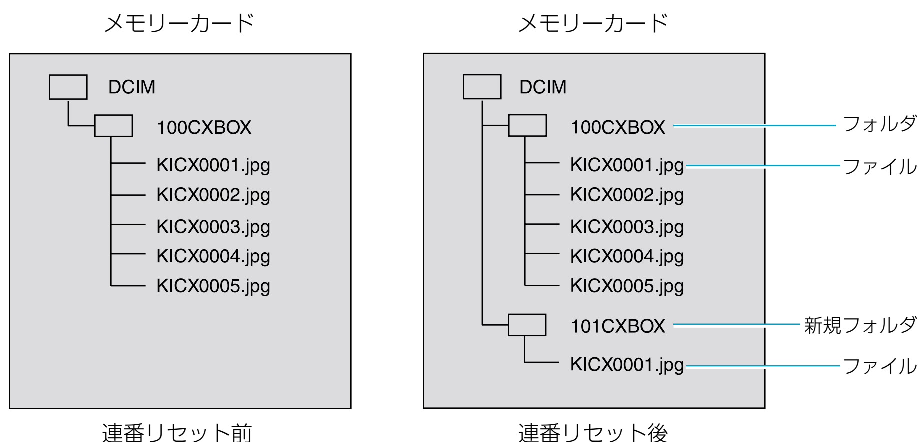
13. ビデオ出力

このカメラのビデオ出力方式はNTSC方式とPAL方式が選べます。テレビの送受信方式は国によって異なりますので、旅先でカメラをテレビにつなぐときはその国の方式を設定して下さい。

- 日本、アメリカはNTSC方式です。

14. 連番リセット

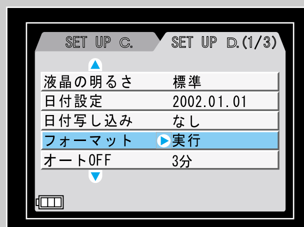
このカメラでは撮影した順に、連続した番号がファイル名に付けられ、それらは「100CXBOX」というフォルダにまとめられます。この連番リセットを実行すると、メモリーカードに新たなフォルダが作られ、画像のファイル名も新たに0001から連番が付けられます。
撮影シーンごとにフォルダ名を変えると、画像データの整理に便利です。

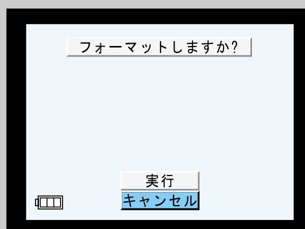


15. 設定リセット

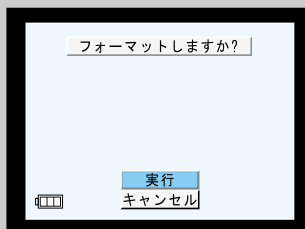
日付、ビデオ出力、言語を除くカメラの各種の設定［撮影モード（P、Av、動画）、セットアップモード］を初期設定に戻します。（詳細はP106をご覧ください。）

2





3



新しいメモリーカードを使う前や、画像を含むすべてのデータを消してしまいたいときにご使用ください。

- メモリーカードに記録されている画像やフォルダーをすべて（含む音声）削除します。プロテクトしてある画像も消されますので、記録内容を十分確認してから行って下さい。

1 モードダイヤルを “SETUP” にして、カメラの電源を ON にします。

2 “D MENU” ボタンを押し、“◎” ボタンの “▲” または “▼” で “フォーマット” を選び、“►” を押します。
[フォーマットしますか？] が表示されます。

3 “◎” ボタンの “▲” で [実行] を選び “⏎” を押すと、フォーマットを始めます。

4 フォーマットが完了すると2の最初の画面に戻ります。

5. “起動画面”の設定

2



3



カメラ電源をONしたときの起動画面を次の3種類から選ぶことができます。

① CONTAX 画面 ....（初期設定）

② ユーザー設定画面 ..... メモリーカードに保存されている画像を起動画面に設定できます。

③ OFF 画面 .... 起動画面を表示しません。

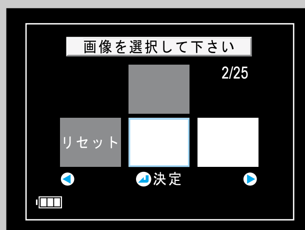
1 モードダイヤルを“SETUP”にして、カメラの電源をONにします。

2 “D MENU”ボタンを押し、“◎”ボタンの“▲”または“▼”で“起動画面”を選び、“►”を押します。

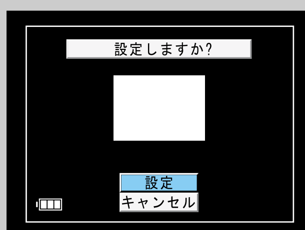
[起動画面を選択してください]が表示されます。

3 “◎”ボタンの“◄”または“►”で希望の画面を選び“⏎”を押すと設定完了です。

4



6



〈メモリーカードの画像を設定する場合〉

4 上記の3で中央の画像を選び“▼”を押します。

[画像を選択してください]の表示がでてメモリーカード内の画像が表示されます。

- リセットを選ぶと、現在設定されているユーザー設定画面を削除できます。

5 “◎”ボタンの“◄”または“►”で希望の画像を選び、“⏎”を押します。

[設定しますか？] の画面になります。

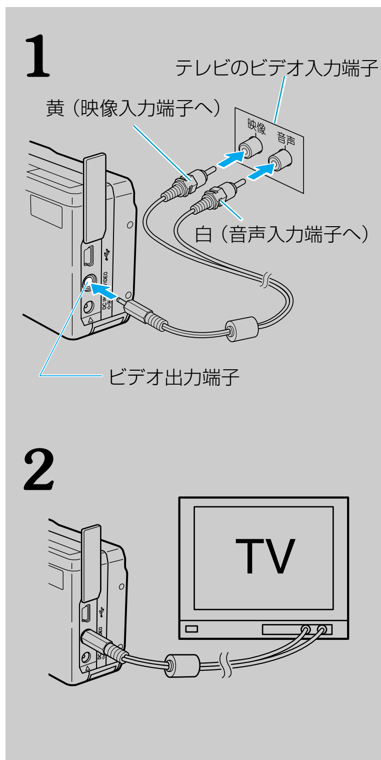
6 “◎”ボタンの“▲”で[設定]を選び“⏎”を押します。

上記3の[起動画面を選択してください]の画面に戻り、中央に希望の画像が表示されます。

7 “⏎”を押すと設定完了です。

他の機器への接続

1. テレビで画像を見る



旅先やご自宅のテレビで撮影した画像を見ることができます。

1 付属のビデオケーブルでカメラとテレビをつなぎます。

- カメラとテレビの電源は、OFF にしてから接続してください。
- 長時間お使いになるときは、ACアダプターをカメラにつないでください。

2 テレビとカメラの電源を ON にして、カメラのモードダイヤルを "▶" にするとテレビに画像が表れます。

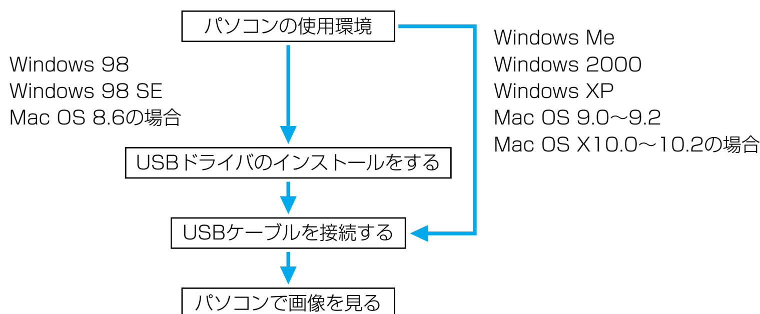
この状態で撮影や再生、SETUP の機能が使用できます。

- テレビはビデオ入力モードにしてください。
- ビデオケーブル接続中はカメラ液晶モニター表示はOFFになります。

このカメラのビデオ出力方式はNTSC方式とPAL方式が選べます。テレビの送受信方式は国によって異なりますので、旅先でカメラをテレビにつなぐときはその国の方式を設定してください。設定方法はP87をご覧下さい。

2. パソコンにつなぐ

このカメラで撮影した画像を、お使いのパソコンで見たり、コピーして加工したり、Eメールで送ることができます。まずはお使いのパソコンのOSをご確認いただき、OSに合わせて本章をお読みください。



〈1.パソコンの使用環境〉

- USB端子が標準で装備されていること。（カメラとつなぐときに必要です。）
- CD-ROMドライブが装備されていること。（インストール時に必要です。）

Windowsでは

- Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP、Home EditionおよびProfessionalがプレインストールされていること。

Macintoshでは

- Mac OS 8.6〜9.2およびOS X10.0〜10.2（OS Xサーバーを除く）がプレインストールされていること。

※上記のOSでもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

USBドライバをインストールする

Windows 98、Windows 98SE、Mac OS 8.6の場合は、このUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバはカメラに付属しているCD-ROMに収録されています。

USBケーブルは、USBドライバのインストールが完了してから接続してください。先にUSBケーブルを接続するとUSBドライバが正しくインストールできません。接続してしまった場合は101ページの「デバイスの削除と対処法」をご覧ください。

付属のCD-ROMには次のソフトウエアが含まれます。

● USBドライバ

Windows 98、Windows 98SEをお使いの場合

1. パソコンの電源を入れてパソコンを起動します。
2. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
3. [マイコンピュータ] から [CD-41] のフォルダをダブルクリックして開いてください。
4. [JPN]、[Disk1] のフォルダを順次ダブルクリックして開き、[SET UP.EXE] のファイルをダブルクリックすると、インストールが始まります。ガイドに従ってインストールを行ってください。
5. 「Install Shieldウイザードの完了」のメッセージが表示されたら、「完了」をクリックし、ウィザードを終了してください。その後パソコンを再起動してください。

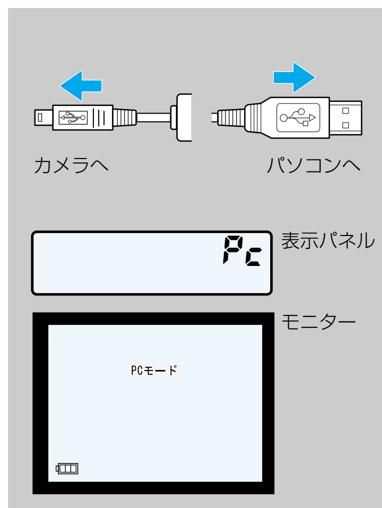
Mac OS 8.6をお使いの場合

1. パソコンの電源を入れてパソコンを起動します。
2. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
3. 画面に表れるCDドライブのアイコンをダブルクリックしてウインドウを開いてください。
4. [DRIVER] のフォルダをダブルクリックしてウインドウを開いてください。
5. [UD0104 (J)] のフォルダをダブルクリックしてウインドウを開き、下記のファイルを「システムフォルダ」の「機能拡張」にコピーしてください。
   - UD0104-USB Storage Driver
   - UD0104-USB Storage Shim
6. コピー完了後、パソコンを再起動してインストール完了です。

〈2. USB ケーブルをパソコンに接続する〉

Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Mac OS 9.0～9.2、Mac OS X 10.0～10.2 は USB ドライバーのインストールが不要ですのでこちらから始めてください。

専用の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続します。



ご注意
USBジャックの大きさをご確認ください。カメラ側のUSBジャックは小さい方、パソコン側は大きい方です。

カメラ電源をONにすると液晶モニターに[PCモード]、表示パネルに［Pc］の表示が表れ、パソコンで作業することができます。

- このときセルフタイマーLED が点滅します。

※ パソコンにつないで画像を見たり、画像をコピーしているときは、カードアクセス LED が点滅します。このときUSBケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切らないでください。

《USB ケーブルの取り外しについて》

パソコンから USB ケーブルを取り外すときは以下の方法で取り外してください。

Windows Me をお使いのかたへ

1. デスクトップの右下にある「タスクバー」の［ハードウエアの取り外し］アイコンをダブルクリックします。
2. ［USB ディスク］を選択して［停止］をクリックします。
3. ［USB ディスク］を選択して［OK］をクリックします。
4. メッセージが表示されるので［OK］をクリックします
5. USB ケーブルをパソコンとカメラから取り外します。

Windows 2000 をお使いのかたへ

1. デスクトップ右下にある「タスクバー」の［ハードウエアの取り外し］アイコンをダブルクリックします。
2. ［USB 大容量記憶装置デバイス］を選択して［停止］をクリックします。
3. ［USB 大容量記憶装置デバイス］を選択して［OK］をクリックします。
4. ［安全に取りはずすことができます］とメッセージが表示されるので［OK］をクリックします。
5. USB ケーブルをパソコンとカメラから取り外します。

Windows 98、Windows 98SE、Windows XP をお使いのかたへ
カメラの電源を切りそのまま USB ケーブルを取り外してください。

Mac OS をお使いの方へ
デスクトップ上の［名称未設定］のフォルダをドラッグしてゴミ箱に入れてください。［安全に取り外すことができます］のメッセージが表示されているか、「名称未設定」のアイコンがディスプレイ上から消えていることを確認してから USB ケーブルを取り外してください。

〈3. パソコンで画像を見る〉

Windows をお使いの場合
ご確認ください。

- パソコンに画像を見るためのソフトウェアがインストールされていること。
  （動画の再生には QuickTime4.1 以上のインストールが必要です。）
- カメラにメモリーカードが挿入されていること。

〈操作〉

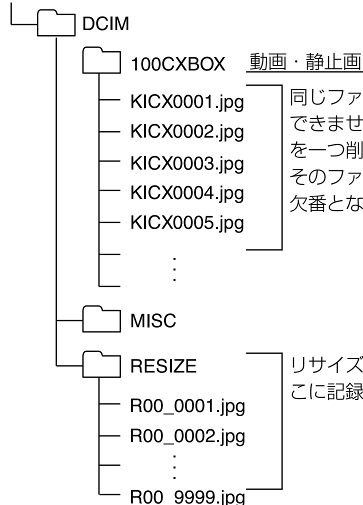
1. カメラにメモリーカードを挿入してください。
2. カメラを AC アダプターに接続し、カメラの電源を入れてください。
3. パソコンとカメラを付属の USB ケーブルで接続してください。
   （カメラの液晶画面に［PC モード］が表れます。）
4. ［マイコンピューター］に新しい［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されます。ダブルクリックしてウインドウを開いてください。
   「PC モード」が表示されていても、パソコン上に［リムーバブルディスク］や［名称未設定］が表示されない場合には、ケーブルが確実に接続されているかご確認ください。
5. DCIM 内の［XXXCXBOX］もしくは［RESIZE］フォルダを開き、見たい画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックしてください。

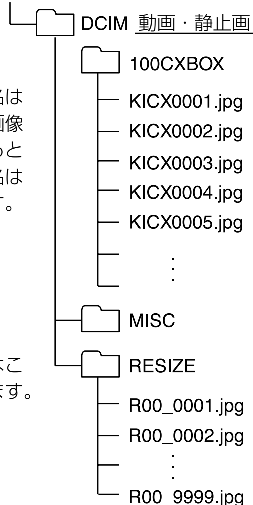
Macintosh をお使いの場合
ご確認ください。

- パソコンに画像を見るためのソフトウェアがインストールされていること。
  （動画の再生には QuickTime4.1 以上のインストールが必要です。）
- カメラにメモリーカードが挿入されていること。

〈操作〉

1. カメラにメモリーカードを挿入してください。
2. カメラを AC アダプターに接続し、カメラの電源を入れてください。
3. パソコンとカメラを付属の USB ケーブルで接続してください。
   （カメラの液晶画面に［PC モード］が表れます。）
4. デスクトップに［名称未設定］のアイコンが表示されます。ダブルクリックしてウインドウを開いてください。
5. DCIM 内の［XXXCXBOX］もしくは［RESIZE］フォルダを開き、見たい画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックしてください。





パソコンとの通信

パソコンがサスペンド･レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ご注意

- 画像に加工を加える場合は（たとえばサイズを変更したり回転する場合）、加工前にパソコンにコピーをとり、オリジナルに加工を加えないようご注意下さい。
  メモリカードのデータに直接加工を加えると、カメラで画像を見ることができなくなります。
- パソコンからメモリーカードをフォーマットしないでください。
- メモリーカードの画像データを削除またはPC上に直接移動しないでください。メモリーカードの画像データの消去はカメラから行ってください。

〈4. デバイスの削除と対処法〉

ドライバソフトが正常にインストールされていないと、パソコンがカメラを認識できません。その場合は、次の手順に従って一度デバイスを削除してください。その後、取扱説明書に記載されている手順に従って、再度ドライバをインストールしてください。

Windows 98、Windows 98SE をお使いの場合

1. パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
2. 付属のUSBケーブルで、カメラのUSB端子とパソコンのUSB端子をつなぎます。
3. カメラにメモリーカードを挿入し、ACアダプターをつないでカメラの電源をONにします。
4. パソコンの［デバイスマネージャ］を開きます。
   ①［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選びます。
   ② システムのプロパティが表示されたら、［デバイスマネージャ］のタブをクリックします。
5. ［その他のデバイス］を選択し、“?”マークのついた［? CONTAX TvsD］の［削除］をクリックします。
6. デバイス削除の確認画面が出たら、［OK］をクリックします。
7. カメラの電源をOFFにしてからUSBケーブルを取り外し、パソコンを再起動をして作業完了です。

〈5. ドライバソフトが不要になった場合〉

ドライバソフトが不要になった場合は、下記に手順でドライバをアンインストールしてください。

1. ［マイコンピュータ］をダブルクリックします。
2. ［コントロールパネル］をダブルクリックします。
3. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックし、［kyocera Camera USB Device2］を選択します。
4. 「追加と削除」をクリックすると「この製品をアンインストールしますか？」を表示されますので「はい（Y）」をクリックしてください。これでドライバソフトは削除されます。

その他

1.「故障かな？」とお考えになる前に

「故障かな？」と思われても、修理に出す前にもう一度次の表で原因と対策をご確認ください。

現　象	原　因	対　策	参照頁
液晶モニターになにもでてこない。	電池切れか、リチウムイオンバッテリーパックが入っていません。	リチウムイオンバッテリーパックをカメラに入れて充電してください。	15
	オートOFF機能で電源がOFFになりました。	再度“POWER”ボタンを押してONにしてください。	—
液晶モニターが消えている。	カメラに何もしないでしばらく放置すると、カメラが休止の状態になります。	シャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。“オートOFF”で設定した内容によって異なりますので、詳しくは89ページをご覧ください。	89
	カメラにビデオケーブルがつながっています。	ビデオケーブルをはずします。	95
	液晶モニターがOFFになっています。	“DISPLAY”ボタンを押して液晶モニターをONにします。	26
	テレビもしくはカメラの近くに磁石等、磁気を発生するものがあります。	カメラを磁気を発生するものから遠ざけてください。	—
撮影したのに撮影可能枚数が変わらない。	撮影した画像の容量が少なかったためです。	画質モードや被写体の状態によるものなので、問題ありません。	—
テレビに映らない。	ビデオ出力方式がテレビと合っていません。	ビデオ出力方式をテレビに合わせてください。	91
画像が消去できない。“🔑”表示	画像がプロテクトされています。	プロテクトを解除してください。	72、83
画像が消去できない。	他の機器で記録したデータが入っています。	このカメラでは消去できません。「フォーマット」を利用すると消去できますが、全画像が消去されます。	92
画像を消去したのに撮影可能枚数が増えない。	消去した画像の容量が少なかったためです。	画質モードや被写体の状態によるものなので、特に問題ありません。	—

現　象	原　因	対　策	参照頁
充電ができない。	リチウムイオンバッテリーパックが入っていません。	リチウムイオンバッテリーパックをカメラに入れてください。	15
	リチウムイオンバッテリーパックの＋－の向きが逆になっています。	リチウムイオンバッテリーパックを正しく入れ直してください。	15
	AC アダプターが正しくつながっていません。	カメラやコンセントにしっかり差し直してください。	—
充電ができない。または、中断してしまう。警告LED遅い点滅。	周囲の温度が高すぎるまたは低すぎるため、充電保護回路が働いて充電を停止しました。	周囲の温度が＋10 ℃～30 ℃の範囲で充電してください。（実際は＋5 ℃～40 ℃でも可能ですが充電時間が多少遅くなります。）	—
カメラが熱くなる。	液晶モニター使用時は大量に電流が流れるため長時間使用すると熱くなります。	故障ではありませんが、しばらく休止してからお使いください。	—
警告LED点灯。	ストロボ充電中です。	一旦シャッターボタンから指を離してお待ちください。	13
警告LED速い点滅。	カメラ振れ警告。シャッタースピードが遅くなります。	三脚等でカメラを固定して撮影してください。	13
ピントが合わない。 スタンバイLED点滅。 合焦マーク点滅。	ピントが合いづらい被写体を撮影しています。	フォーカスロックを使って被写体のコントラストの強いところにピントを合わせてから構図を決めて撮影してください。	39
画像の回転、DPOF設定、プロテクトができない。	SD メモリーカードのライトプロテクトがロック（書込み禁止）されています。	SDメモリーカードのロックを解除してください。	16

メッセージとその対策

メッセージ	原　因	対　策	参照頁
“カードが一杯です”	メモリーカードの記憶容量が不足しています。	新しいメモリーカードを入れるか、不要な画像を消去してください。または、画素数や画質を変えると撮影できる場合もあります。	73
“カードがありません”	メモリーカードが入っていません。	カメラにメモリーカードを入れてください。	16
“ライトプロテクト”	SD メモリーカードのライトプロテクトスイッチがロック（書込み禁止）されています。	SDメモリーカードのロックを解除するか他のメモリーカードをご使用ください。	16
“カードエラーです”	他の機種でフォーマットされたメモリーカードを使っています。	カメラでメモリーカードのフォーマットをしてください。	92
	このカメラで取り扱いできないフォーマット形式のメモリーカードです。	別のメモリーカードを入れるかフォーマットをしてください。	92
	カードが正しく装着されていません。	メモリーカードを装着し直してください。	16
“画像がありません”	メモリーカードに何も記録されていません。	撮影済みのメモリーカードを入れてください。	—
“再生できません”	ファイル形式が違う画像ファイルがメモリーカードに記録されています。	別のメモリーカードを入れるかフォーマットをしてください。	92

2. モードや機能の設定状況

撮影時、カメラ電源 OFF 時と設定リセット時（※）の各モードや機能の設定状況の一覧です。

モード	項　目	カメラ電源OFF時	設定リセット時※
Av、P、動画	AFL ボタンによる AF ロック	解除（通常 AF）	通常 AF
Av、P	ストロボモード	解除（⚡デフォルト）	⚡ AUTO
Av、P、動画	マクロ AF	解除（通常 AF）	通常 AF
Av、P、動画	MF（マニュアルフォーカス）	解除（通常 AF）	通常 AF
Av、P、動画	露出補正	解除（±0）	±0
Av、P、動画	WB（ホワイトバランス）選択	設定保持	AUTO
Av、P	ISO 感度	設定保持	AUTO
Av、P、動画	セルフ／リモコン	解除（OFF）	OFF
Av、P、動画	AF エリア選択	設定保持	ワイドフォーカスフレーム
Av、P	測光モード	設定保持	評価測光
Av、P	ABC	解除（0.0）	0.0
Av、P	ドライブモード	設定保持	S
Av、P	長時間露出	解除（OFF）	OFF
Av、P	ストロボ調光補正	設定保持	標準
動画	音声あり／なし	設定保持	ON（あり）
Av、P、動画	カラーモード	設定保持	COLOR
Av、P、動画	画素数設定	設定保持	Av.P：2560×1920 動画：320×240
Av、P	画質	設定保持	NORMAL
Av、P	WB ブラケット	解除（OFF）	OFF
Av、P	シャープネス	設定保持	0
Av、P	彩度	設定保持	0
“SET UP C”	⚡デフォルト	設定保持	⚡ AUTO
	ABC 順序	設定保持	0／+／−
	AFL 継続時間	解除（1 コマ）	1 コマ
	AFL 機能	設定保持	AF ロック
	露出補正時間	設定保持	電源 ON 中
	露出補正幅	設定保持	0.3EV
	MF の継続時間	設定保持	電源 ON 中
“SET UP D”	液晶の明るさ	設定保持	標準
	日付設定	設定保持	リセットしない
	日付写し込み	設定保持	なし
	フォーマット	—	—
	オート OFF	設定保持	3 分
	電子ズーム	設定保持	OFF
	操作音量	設定保持	+2
	シャッター音量	設定保持	+2
	選択色変更	設定保持	ブルー
	起動画面	設定保持	CONTAX 画面
	A·REC レビュー	設定保持	OFF
	言語 LANGUAGE	設定保持	リセットしない
	ビデオ出力	設定保持	リセットしない
	連番リセット	—	—
	設定リセット	—	—

※ 設定リセット：日付、ビデオ出力、言語を除くカメラの設定を初期設定に戻します。

3. 主な仕様

型式： 記録・再生・消去一体型デジタルスチルカメラ
記録媒体 / 記録方式： SD メモリーカード／MMC（マルチメディアカード）、DCF 準拠＊(注 1)
(Exif Ver2.2)、JPEG 準拠、DPOF 対応＊(注 2)

（注 1）DCF とは、主としてデジタルカメラの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として規定された（社）電子情報技術産業協会(JEITA）の規格『Design rule for Camera File system』の略称です。

（注 2）DPOF とは、キヤノン株式会社、コダック株式会社、富士写真フイルム株式会社、松下電器産業株式会社の 4 社で制定したデジタルプリントオーダーフォーマット。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などの指定情報を記録媒体に記録するための規格で『Digital Print Order Format』の略称です。

有効画素数： 500 万画素
撮像素子： 1/1.8 型正方画素原色フィルターインターレース読み出し方式 CCD
（総画素数 525 万画素）
記録画素数(静止画)： 2560 × 1920、1600 × 1200、1280 × 960、640 × 480
記録画素数(動画)： 320 × 240、160 × 120
画質： FINE、NORMAL の 2 段階
レンズ： カールツアイスバリオゾナー T ＊ 7.3 〜 21.9mm（35mm 判カメラ換算約 35 〜 105mm 相当）、F2.8 〜 4.8（6 群 6 枚）
- 絞り： WIDE：F2.8、F3.3、F4.0、F4.7、F5.6、F6.7
TELE：F4.8、F5.6、F6.7

電子ズーム： 電子ズーム設定可能（× 1.3、× 1.6、× 2、× 3、× 4）
焦点調節： ビデオフィードバック式オートフォーカス、およびマニュアルフォーカス（距離設定可）
撮影距離範囲： AF：0.6m 〜∞
（CCD 面より） MF：0.6、0.7、0.8、1、1.5、2、5m、∞
マクロ（WIDE）：0.15 〜 0.6m

露出制御：
- 制御方式： プログラム AE、絞り優先 AE、LT（長時間露出）
- 測光方式： CCD 画面多分割評価測光、中央部重点測光、スポット測光の 3 モード選択可能
- 測光連動範囲： LV3 〜 LV16.5
- 露出補正： +2.0EV 〜－ 2.0EV(1/3 ステップまたは 1/2 ステップ、SET UP C で切り替え可)
ABC（± 0.3EV、± 0.5EV、± 1.0EV）

シャッター： CCD 電子シャッター、絞り羽根独立式電子制御シャッター併用
1 〜 1/2000 秒
LT 設定：1 秒、2 秒、4 秒、8 秒の設定可能
ホワイトバランス： オート、太陽光、白熱電球、曇天、蛍光灯、プリセット
カラーモード： カラー、白黒、セピア
シャープネス： ＋ 3 〜－ 1（5 段階）
彩度： ＋、0、－（3 段階）
感度設定： マニュアル設定可、ISO100 〜 ISO400
ファインダー：
- 光学ファインダー：実像式ズームファインダー
視野率約 83%、倍率 0.35 〜 0.99、視度補正＋ 1 〜－ 3d
- 液晶モニター： 1.6 型 8.5 万画素 TFT カラー液晶モニター（354 × 240 ドット）

ストロボ： 調光式内蔵式ストロボ／光量補正可能（± 1 EV）
ストロボモード： ① 自動発光　② 赤目軽減自動発光　③ 発光禁止　④ 強制発光　⑤ 夜景ポートレートモード
AF モード： ① ワイド AF、② スポット AF
動画記録モード： ファイル形式：AVI　音声有無選択可
動画記録時間： 30 秒 / 回(320 × 240)、120 秒 / 回（160 × 120）
最大記録回数は記録メディア容量によって異なります
PC での再生環境：QuickTime4.1 以上（Windows、Macintosh）
静止画撮影機能：
- C. MENU： セルフ／リモコン、AF モード選択、測光モード選択、ABC、ドライブ（S、C）、LT（長時間露出）、ストロボ光量補正
- D. MENU： カラーモード、画素数、画質、WB ブラケット、シャープネス、彩度

動画撮影機能：

- C. MENU：　セルフ／リモコン、AF モード選択
- D. MENU：　音声アリ／ナシ（動画）、カラーモード、画素数

液晶モニター表示： ストロボモード、WB、測光モード、測距マーク、ドライブマーク（C）、画素数、画質、撮影可能枚数、露出補正、シャッタースピード、F 値、感度、シャープネス、彩度、電子ズーム、セルフ／リモコン、マクロマーク、MF、AFL マーク、ABC マーク、WB ブラケットマーク、バッテリーマーク、日付

表示パネル表示： ストロボモード、マクロマーク、ドライブマーク（C）、撮影可能枚数、MF マーク、AFL マーク、露出補正マーク、LT マーク、バッテリーマーク

再生モード： マルチ画面表示（6 画面）、アフレコ（静止画への音声メモ）、プロテクト、消去、全消去、リサイズ、回転、スライドショー、DPOF 設定、クローズアップ再生、サムネイル再生、動画再生（本機で撮影した画像のみ）、ヒストグラム表示

アフレコ： 1 画像当たり最大 30 秒までの録音、再生可能。
ファイル形式：.wav

リサイズ： 320 × 240、または 160 × 120 へのリサイズ可能。
リサイズするエリア選択可。
ファイル形式：.jpg

消去： 1 画像消去、全画像消去可能

セットアップ機能：

- SET UP C：　ストロボデフォルトの設定、ABC 順序、AFL 継続時間の設定、AFL ボタンでの AE ロック、露出補正の継続時間の設定、露出補正幅、MF 継続時間の設定
- SET UP D：　液晶明るさ調整、日付設定、日付写しこみ、カードフォーマット、オート OFF 設定、電子ズーム、操作音量設定、シャッター音量設定、選択色変更、起動画面選択、オート REC レビュー、言語（日、英、独、仏、西）の選択、ビデオ出力切替、ファイルナンバー連番リセット、設定リセット、

ビデオ出力： NTSC/PAL コンポジットビデオ信号切替方式、音声出力

入出力端子： ビデオ出力端子、外部電源入力端子、USB 端子（mini-B）

電源： 3.7V リチウムイオンバッテリー 1500mAh、専用 AC アダプター

充電時間： 約 6 時間（フル充電、+10℃～ +30℃）

撮影画像枚数： （ストロボ 50% 使用、2560 × 1920 ノーマル時）※
液晶モニター ON 時　　約 260 枚
液晶モニター OFF 時　　約 310 枚

連続再生時間： 約 4 時間 30 分（液晶モニター使用）※

※ いずれもフル充電時、常温、付属のバッテリーパック使用、当社測定基準による。

寸法： （幅）112mm ×（高）60mm ×（奥行）33mm
（液晶、レンズ部など突起部を除く）

質量： 約 210g（バッテリー、記録メディア別）

動作温度： 0 ～ 45℃（結露なきこと）

記録画素数の撮影枚数目安

*　16MB カード使用、同一モードのみ記録時。撮影枚数は被写体の内容、カードの種類によって変わります。

2560 × 1920	約　4 ～ 6 枚　（ファイン）、約 8　～ 12 枚　（ノーマル）
1600 × 1200	約 10 ～ 15 枚（ファイン）、約 20 ～ 29 枚　（ノーマル）
1280 × 960	約 16 ～ 23 枚（ファイン）、約 30 ～ 43 枚　（ノーマル）
640 × 480	約 54 ～ 73 枚（ファイン）、約 88 ～ 112 枚（ノーマル）
動画 320 × 240	約　1 ～ 2 回　（音声付、30 秒記録時）
動画 160 × 120	約　1 ～ 2 回　（音声付、120 秒記録時）

※仕様・外観の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

索　引

英数字

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

その他